



Taketa Public Relations No.72

武家屋敷通りの片隅にて

広報
たけた

2011

3

竹田雛めぐり

子どもの健やかな成長を祈りながら作られた雛人形。
今日はうれしい、竹田の雛祭り。



岡藩竹人形雛

古くから竹の集散地だった竹田では竹が多様な形態で暮らしの中で使用されてきました。(復元された「岡藩竹人形」、「岡藩和紙人形」、「岡藩立雛」は御客屋敷に展示されています)

岡藩城下町雛まつり 開催中

城下町に春の訪れを告げる『第13回岡藩城下町雛まつり』が2月4日から3月6日まで、竹田の商店街を中心に各ギャラリーで開催中です。竹灯籠に和紙の折雛を飾った「竹雛」をはじめ、手づくりの雛人形や貴重な時代雛などが約50か所で展示されており、観光客の目を楽しませています。

◇雛まつりの主なイベント

- ・『流し雛』 3月4日(金) 10時～
(JR豊後竹田駅前稲葉川周辺)
- ・『ひいなあそび』 3月5日(土) 10時～13時
(旧NTT駐車場)

◎竹田市観光ツーリズム協会竹田支部 ☎63-2638



↑かわいい雛人形に思わず立ち寄る観光客



岡藩和紙人形雛

竹田では岡藩の時代から土族婦人の内職としてはじまりました。



↑彩り鮮やかな花餅づくり



↑なりきり！お内裏様とお雛様

美しいひな祭り
たのしいひな祭り



↑真太呂人形を見つめる幼稚園児たち(竹田創生館)



岡藩立雛

和紙や布、木を素材にした様々な「立雛」が庶民の間で広まったそうです。



竹雛

2月4日、「岡藩城下町雛祭り」のオープニングセレモニーが竹田創生館で行われました。竹田保育所、竹田幼稚園、しらゆり幼稚園の園児たちも参加し、「うれしいひなまつり」を大合唱しました。

終了後、園児たちは本町通りの会場に移動し、「花餅づくり」などを体験しました。

過疎か

国勢調査の結果にも表れているように、竹田市ではさらに過疎が進行しています。しかしながら、豊かな自然に囲まれた『竹田』には、日本人の原風景が残っており、都会生活では決して体験できないことがたくさんあるのです。過疎からの脱却をめざして、今月号では「農村回帰の推進」と「コミュニティの再生」を考えます。

また、まちづくりの好事例として、「新潟県村上市『村上市民 地域活性化への挑戦』に学ぶ」をご紹介します。

※写真はイメージです。

からの脱却

平成22年国勢調査・竹田市の人口速報

人口 2万4420人・世帯数 9594世帯

平成22年10月1日を基準日として実施した国勢調査の集計結果概数(速報値)がまとまりましたのでお知らせします。

●総人口は、2万4420人で、前回調査(平成17年)と比較して、2114人減少しました。(8.0%減少)

●世帯数は、9594世帯で、前回調査と比較して516世帯減少しました。(5.1%減少)

昭和35年の調査以降、人口減少傾向は続いています。また、地区別集計でもすべての地区で前回比で減少となっています。

今回は、人口と世帯数の速報値の公表のため今後詳細な結果公表を受け分析を深めていきます。

- 今後の公表予定(総務省統計局)
- 人口等基本集計 23年10月(年齢・男女別人口、世帯の種類、住居の状態、外国人、高齢者世帯に関する結果など)
 - 移動人口集計 24年1月(人口の転出入状況など)
 - 産業等基本集計 24年4月(産業別の就業者数など)
 - 従業地・通学地集計 24年6月(流入人口や昼間人口など)
 - 職業等基本集計 24年11月(職業別の就業者数など)

■竹田市の国勢調査人口・世帯数の推移

年次	世帯数	人口	対前回増減率(%)		人口密度
			世帯	人口	
昭和25年	11,360	58,043	-	-	123.4
昭和30年	11,673	60,028	2.8	3.4	127.6
昭和35年	12,131	56,889	3.9	△5.2	120.3
昭和40年	11,821	49,308	△2.6	△13.3	103.4
昭和45年	11,367	42,873	△3.8	△13.1	89.9
昭和50年	11,045	38,359	△2.8	△10.5	80.4
昭和55年	10,701	36,011	△3.1	△6.1	75.5
昭和60年	10,577	34,693	△1.2	△3.7	72.7
平成2年	10,363	32,398	△2.0	△6.6	67.9
平成7年	10,248	30,368	△1.1	△6.3	63.6
平成12年	10,225	28,689	△0.2	△5.5	60.0
平成17年	10,110	26,534	△1.1	△7.5	55.5
平成22年	9,594	24,420	△5.1	△8.0	51.1

■地区別人口比較

地区	平成17年	平成22年	増減	増減率(%)
竹田	2,890	2,631	△259	△9.0
岡本	932	859	△73	△7.8
明治	753	666	△87	△11.6
豊岡	2,701	2,477	△224	△8.3
玉来	2,645	2,539	△106	△4.0
松本	1,334	1,269	△65	△4.9
入田	693	603	△90	△13.0
姫岳	616	554	△62	△10.1
宮砥	717	614	△103	△14.4
菅生	805	759	△46	△5.7
宮城	922	812	△110	△11.9
城原	1,153	946	△207	△18.0
荻	2,334	2,127	△207	△8.9
柏原	963	863	△100	△10.4
久住	1,623	1,480	△143	△8.8
白丹	1,027	959	△68	△6.6
都野	1,891	1,882	△9	△0.5
長湯	1,696	1,623	△73	△4.3
下竹田	839	757	△82	△9.8
合計	26,534	24,420	△2,114	△8.0

(注) お知らせした数値は速報のため、今後総務省が公表する人口速報数値と一致しない場合があります。

国勢調査にあたりましては、各世帯や調査員・指導員のみなさんで協力をいただき、誠にありがとうございました。

農村回帰の推進

市外からの若者移住定住を誘発！

過疎化を防ぐ取り組み

過疎の現状

平成22年国勢調査による竹田市の人口（速報値）は、2万4420人。1市3町が合併した平成17年からの5年間で2114人が減少してしまいました。平成12年からの10年間では、4269人が減少したことになります。

さらに、平成17年国勢調査結果では、65歳以上の割合は全国の市で3番目に高く、75歳以上

の割合は2番目に高くなっています。また、自治会の高齢化率が50%を超える、いわゆる限界集落は全自治会の23%に当たる84にのぼります。数字の上からも過疎の現実を垣間見ることができません。

皆さんの中には「市道の草切りなど自治会の共同作業や地域の伝統行事ができなくなった」といった身近な問題として過疎を実感されている方も多いのではないのでしょうか。

負の環境を逆手に

過疎化が進行し地域コミュニティの維持が困難になりつつある現実。それでは、過疎の現実とどう向き合っていくのか。その打開策として竹田市が進んでいるのが農村回帰の取組みです。

市内で増加する空き家や荒廃する田畑という「負の環境」を逆手にとつて都会から竹田への移住を促し、過疎化を食い止め、コミュニティの再生も実現しようというものです。

市内で増加する空き家や荒廃する田畑という「負の環境」を逆手にとつて都会から竹田への移住を促し、過疎化を食い止め、コミュニティの再生も実現しようというものです。

空き家バンクによる移住実績

この農村回帰の取組みを支えているのが平成17年から始まった空き家バンクの制度です。移住希望者に市が空き家情報を提供し、移住を推進するもので、平成21年度までの5年間にこの制度を利用して67人が竹田への移住を果たしています。空き家

バンクを利用しなかった方を含めると優に100人以上は移住していると推測できます。

また、空き家バンクの延べ利用申込み者、言い換えれば竹田市への移住希望者は245人。

年代別の内訳は、20代（10%）、30代（25%）、40代（20%）、50代（25%）、60代以上（20%）。注目すべきは、20代と40代の若い世代、子育て世代が過半数を占めていることです。

全国的な傾向でも、若い世代の田舎暮らし志向は、確実に強まっています。

本年度の成果

それでは、昨年6月に竹田市農村回帰支援センターが設立され、農村回帰の取組みが本格化した本年度の成果はどうなっているのか。

空き家バンクを利用した移住者はこれまで6世帯9人。まだ移住はしていないものの、住居が決まり間もなく移住予定の方が4世帯8人。

さらに、久住地域での新規就農がほぼ決まり、住居を探している方が2人、企業の農業参入に伴い、荻地域に移住を予定している方が1人います。

なお、本年度の移住者と今後移住予定者の中には20代が7

人、30代が3人含まれており、若い世代の田舎暮らし志向が強まっていることを裏付ける結果となっています。

移住者との関わり

以上のように、農村回帰の取組みは一定の成果を上げてきてはいますが、ただ単に人口が増えればいい、というものではありません。

移住者が地域とどういう関わりを持ち、どういう役割を担っていくのか。また我々も、どう迎え入れ、新しいコミュニティを構築していくのか、という本質の部分を見失わないようにしなければなりません。

その上で、若い世代を中心に今後実質定年を迎える団塊の世代を積極的に受け入れることは、過疎化の進行にブレーキをかける有効な手立てであると考えます。

そのために、農村回帰支援センターの更なる機能強化、集落支援員や農村回帰サポーターとの連携を図りながら、子育て世代向け住宅の建設、地域の人が一体となつて移住者を迎え入れる環境づくりなど、新たな施策を展開していきます。



↑ 都会で暮らす懐かしい友人や知人に「竹田」のすばらしさを今、話しかけてみませんか。竹田市定住支援サイト『農村回帰』(<http://www.city.taketa.oita.jp/nouson/>)

過疎の進むなかで、明るい将来の展望を切り開こうという元気な地区があります。

竹田市公民館入田分館。現在「パソコン教室」や「書道教室」、「カラオケ」、「男性料理教室」など、公民館活動は活発に行われており、古びた分館施設からは、賑やかな声がいっつも響いているのです。

全国名水百選に指定されている竹田湧水群には、年間約3万人が湧水を汲みに訪れているそうです。地区活性化事業推進協議会（伊藤洋一会長）は環境資源を活かし、「日本一美しい村づくり」を目標に、毎年桜と紅葉の植栽に取り組んできました。一昨年には植栽1万本を達成。8年前に植えた桜の若木は、まもなく開花を迎えようとしています。

「恵まれた湧水が当たり前だと思っていた。貴重な文化財など、そこに住んでいる人がその価値を再認識し、この地域を誇りに思ってもらいたい」と語る伊藤会長。来年度、地域勉強会の開催を予定しています。

また昨年2月、多くの人に「山桜」を楽しんでもらおうと、樹齢400年以上といわれる神宮寺「山桜」周辺の伐開作業を行

コミュニティの再生

豊かな自然が育んだ

地域の絆 入田分館

いました。そのお陰で県道沿いからでも見えるようになりました。地域住民も新たな名所となればと、期待を寄せています。

仕掛けることは分館の役割

歴代分館長の功績を引継ぎながら、地域と拠点（入田分館）をつなぐ様々な「仕掛け」を企



↑桜、紅葉の植栽は10,000本達成



↑放課後に生きた英語をたのしく学ぶ、子ども英会話サークル



↑みんなで楽しく学ぶ「パソコン教室」



↑活気にあふれる「生きがいサロン」



↑美しい山桜は地域の宝



↑名水マラソンでは、ランナーを地域であげて応援します

画する白井幸光分館長は、次のように話しています。
「何かをしたいという気持ちはあるが、という地域の声は多い。みんなが待っているから、「時」と「場」を提供する。仕掛けることは公民館の役割。それが活性化のきっかけとなればいいなと思う」。

まさに「地域の絆」は、この入田地区にしかない豊かな自然によって育まれてきたのです。ここにコミュニティの再生への糸口があるように思えました。
入田村役場、入田連絡所、農協支所……。これまで長きに亘り「人の繋がり」を見守ってきた現在の入田分館も老朽化のため建替えが決まり、平成23年度内に「新館」が完成します。



↑地域の情報を発信する入田分館だより「いずみのひろば」

新潟県村上市 『村上市民 地域活性化への挑戦』に学ぶ

城下町村上 行政に頼らないまちづくり

近代化に反対するのではなく、伝統的な町屋に光を当て、その価値を見出し、活性化に導いた「町おこし」の好事例として、竹田市民のみなさんにご紹介します。

新潟県最北の城下町、村上。平成20年に合併をして人口3万人から7万人になりましたが、この町はこの10年間で「町屋」の城下町として一躍注目を集めるようになり、全国からの観光客が訪れる町へと変わっていききました。

国土交通省認定 観光カリスマ・吉川真嗣さんは、大規模な近代化計画が、代々続いた自らの住まいに押し寄せていることを知った最中、会津復古会初代会長・五十嵐大祐氏の言葉により町屋保存の必要性に気付かされました。

「村上が素晴らしいのは城下町を構成する武家町と町人町の両方が残っているからだ。これは全国的にも珍しい。この一方の町人町を近代化するということは、町屋が壊され城下町としての価値を著しく失うことにな

る」

この言葉を確かめるため、吉川さんは全国の町を検証して歩いた末、近代化により城下町の大切な町屋が壊されるばかりでなく、商店街までが一挙に衰退してしまおうという現実を知りました。その現実から町屋を守るためにその一歩を踏み出したのです。はじめの一歩は、近代化を

反対するのではなく、伝統的な町屋に光をあて町を活性化させることにより、町屋の価値を全市民に示すことから始まりました。吉川さんはそれらの取り組みが成功することは、町屋を近代化から守る力になると確信していました。

■市民自らの活動で成り立っている「村上の主な取り組み」



◇町屋の人形さま巡り

城下町村上、その町屋には代々受け継がれて来た人形があります。どの人形も家の思い出と願いが込められた大切な町屋の「人形さま」。これは、その家に伝わる雛人形はじめ武者人形、土人形、市松人形など、様々な人形さまを展示披露するというものです。60軒もの町屋で生活空間に展示された家伝の人形さまを無料で見学してもらおうこの取り組みは、話題が話題を呼び口コミでも急激に広まり、第1回目から3万人もの集客に成功し、1億円の経済効果がありました。

◇町屋の屏風まつり

村上の夏祭りは「おしゃぎり」という山車を曳き回す絢爛豪華なお祭りですが、その昔はお祭りの室礼として、どの家も屏風を立てる風習があり、別名「屏風まつり」とも言われていました。しかし、近年めつつきり屏風が出されなくなっていたため、形を変えたのが、この「町屋の屏風まつり」で、蔵の中で眠っていた屏風を約60軒のそれぞれの町屋の中で公開することにしたというもの。町屋を「核」とした村上の町おこしが確固とした

ものになりました。



↑町屋の屏風まつり

◇市民の手で作る黒塀プロジェクト

町屋の持つ価値をはつきりと示してきたのに屏風まつりのあと、行政によって町屋が4〜5軒一挙に壊されたのでした。「行政が町を壊すなら、我々市民が町を作って見せる」と一大決心。町おこしから景観づくりへと発展しました。村上旧町人町にある安善小路とその周辺には、城下町の歴史的建造物が多く集中。この小路を市民の手で城下町らしい昔ながらの黒板塀の景観に戻そうという思いから、市民自ら平成14年早春「黒塀プロジェクト」を開始します。これは、城下町の風情ある小路のブロック塀を昔ながらの黒塀に変えるプロジェクト。既存ブロック塀を壊さず、その上に木の板を打ちつけ黒く

町おこしの秘訣



新潟県村上のまちおこしの立役者、吉川真嗣さんが「国際文化研修」に寄稿された「眠れる資源を掘り起こせ！城下町村上、市民まちづくりの挑戦」の中から、町おこしの秘訣となる「珠玉の言葉」を抜粋し、ここに紹介します。

・短期間において成功をあげるポイントは「ごくごく少数で人が感動するユニークな企画を打ち立てる。大勢集めて協議はしない。やりたくない人は参加してもらわず、賛同する人だけ集めて実行する」というやり方であった。

・「できる範囲で頑張ろう」とはあたかも無理がなく良い事のような響きがあるが、実際は心に逃げと甘えが生まれ、持っている力の半分も出さないで終わる。たとえ初めて行うことであっても、ある一定のレベルまでは必ず成功させる、と言う気持ちこそ肝心だ。

・市民は行政がお金を出すが当たり前と思つてはいけない。逆に行政もお金を出さずにはいられない。またまちづくり活動をする上で市民は、「行政が何も支援してくれないからできないのだ」と嘆くのではなく、自力で動き成果を示すくらいに気が必要だ。そして行政は頑張りだした市民の活動を見極めた上で、それを何かの形でバックアップする体制をつくっていくことが肝要だと思つた。

・本当にいいまちを作るには、市民自ら考え意見をだすことは勿論、汗をかき、お金を出してでもやるんだという心意気こそが必要なのだと思つた。

吉川 真嗣

国土交通省認定 観光カリスマ (味匠 黒川 専務取締役)



昭和39年新潟県村上市生まれ、昭和63年早稲田大学商学部卒。商社勤務を経て、平成2年「焼つ川」(家業で村上伝統の製菓品製造販売業)に入社。平成10年村上町屋商人会を結成、町屋を活かした町おこしを開始。平成14年チーム黒塀プロジェクトを結成、景観づくりを開始。平成16年むらかみ町屋再生プロジェクトを結成、町屋の外観再生を開始。平成16年国土交通省より観光カリスマに認定、内閣府より地域活性化伝道師に任命される。平成19年地方自治法施行60周年記念総務大臣表彰(個人表彰)を受ける。手掛けた活動は平成16年地域づくり総務大臣表彰、平成18年JTB交流文化賞優秀賞、平成19年国土交通省「手づくり郷土賞」、平成20年同省都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」など受賞。http://www.k-shinji.info/



↑黒塀づくりに取り組む村上市民のみなさん



←黒塀プロジェクトのポスター

塗ることで、表向き黒塀に変えるもので「黒塀一枚1000円運動」と銘打って展開し、子どもからお年寄りまでが手づくりで作業を行いました。

ところが平成17年6月11日、文化財の割烹新多久にて火災発生。もはや黒塀プロジェクトも終わりかと思われましたが、メンバーの口から出た言葉は、「あきらめずにやり続けよう」。そこから一丸となったメンバーに、翌月、驚くことが起こりました。黒塀の口座になんと620万円が振り込まれていたのです。この後まさに奇跡的な復興が始まりました。

やがてプロジェクトは広がりを見せ、周辺住人の自発的な協

力によりこの地域全体がその魅力を増していくのでした。

◇町屋の外観再生プロジェクト

町の明日を考え、一大決心をして立ち上げた町の景観づくり。村上の町屋の外観は魅力にかけが、内部は非常に素晴らしい。市民の有志で「町屋の外観再生プロジェクト」を平成16年に開始しましたが、その計画とは、年会費で1年に1千万円の基金を集め10年で1億円の基金を作り、その基金で外観を再生する場合に補助金を出すというものです。民間ベースのプロジェクトとしては全国初の取り組み。現代風になつているアルミやサッシ、トタンにアーケードの外観を昔ながらの格子や木枠の硝子戸に変え、町屋の外観を整えれば、村上の町は内外ともに充実し、その魅力は格段に



↑町屋の外観再生で、魅力的な町並みに

高くなつていきました。

「町屋の人形さま巡り」と「町屋の屏風まつり」という二大催しを中心として、村上の知名度は全国的にも広まつていったのです。この期間は非常に賑わい、経済効果たるや現在では5億円ともいわれています。一方、1回の開催費用はわずか35万円。行政に頼らず全て市民でやったことに、この催しの素晴らしきがあつたのです。

今回「新潟県村上のまちおこし」の例は、私たち竹田市民がこのまちの良さを知りたいというきつかけとなるよう、ご紹介をさせていただきます。

なお、吉川真嗣さんは5月に竹田市にお越しになり、講演をしていただく予定です。ご期待ください。その吉川さんから、竹田市民のみなさんにメッセージをいただきました。

『うちのまちは行政も会議所も何もしてくれないから駄目なんだ、ではありません。行政に頼らずともできることは山ほどあるのです。竹田の皆さん、子供や孫に誇れる町を残すため、市民自らが行動し、竹田を更に素晴らしい町にしていって下さい。』(吉川真嗣)

4月から、行政組織が一部変更へ（予定）



↑生涯学習課が文化会館内に移動になり、ますます便利に！

平成22年度竹田市椎茸種駒購入費助成事業申請

椎茸生産農家を支援します

1. 補助対象要件

竹田市内の方で、本年度において、種駒販売業者から購入した椎茸種駒を2万個以上植菌する生産者で、平成23年3月末日までに植菌が完了する者。

2. 補助金の額

生産者1戸当たり、植菌数量が2万個を超えた駒数に0.5円を乗じて得た額を助成。（但し1000駒単位）

例…4万5000駒植菌の場合（4万5000駒×0.5円＝2万0000駒）×0.5円＝1万0000駒

1万2500円

3. 補助金交付申請について

・椎茸種駒販売証明書は「市役所農政課」、「荻・久住・直入支所産業建設課」、「大分県椎茸農協竹田支部」にあります。

他にも、竹田直入森林組合、JA直入支店にも備え付けています。

・椎茸種駒販売証明書は、平成23年4月10日までに提出（期限厳守）してください

●お問い合わせ 竹田市農政課
☎63-4805

現在、竹田市教育委員会生涯学習課と中央公民館の統合を計画しています。市役所本庁内の生涯学習課を竹田市文化会館へ移動し、生涯学習事業・公民館事業・体育事業・文化会館事業等のさらなる充実を目指します。

さらに生涯学習事業と公民館

事業を一元化することにより、公民館活動再生を図ります。

また、教育委員会総務課は、4月から「教育総務課」に名称変更となる予定です。

●お問い合わせ

竹田市総務課行政改革推進室
☎63-11111（内線214）

「平成23年度水質検査計画」は3月1日から閲覧できます

◇水質検査計画について

水道課では水道水の安全確認のため、毎年「水質検査計画」を作成し、水道法に基づいた水質検査を毎月定期的実施しています。この「水質検査計画」は法律により作成が義務付けられ、需要者へ公表することとされています。

これに伴い、水道課では「平成23年度 水質検査計画」を作成しましたので、閲覧をご希望の方は、竹田市水道課、または各支所簡易水道担当課までお越しください。なお過去の検査結果についても公表しています。（閲覧は、平成23年3月1日からとなります）

●お問い合わせ 竹田市水道課 ☎63-1046

竹田雑感

東京大学景観研究室 学士課程4年 永井友梨

〜景観研究の立場から〜（15）

竹田を対象に書かせて頂いた卒業論文の提出を昨日終えて、この原稿を書いています。論文の謝辞の1ページは、竹田の方々への感謝で埋まりました。けれど一番お礼の言葉を届けたい皆様には、論文よりこちらの方が読んで頂けるかと思うので、この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。

十一月末頃に竹田へ調査に伺い、町の皆様にアンケートをお願いしました。断られるのではないかと不安に反して、多くの方が快く協力して下さいました。断るところか「昔を思い出させてくれてありがとう」と言つて下さったり、また「大変だけど頑張つて」と言葉をかけて下さる方も多く、本当に、竹田の皆様の温かさがなければできない研究だったと痛感しています。

田という地が、ある種故郷のような、ほっとする場所になっていくのを感じています。

この竹田の魅力はなんだろうと考えながら、お話を伺ったことやアンケートの回答を一つ一つ読み返していて、多くの方が竹田への、特に竹田の「人」への思いを持っておられることを感じました。「昔から町の様子は変わっても、竹田人の気質は変わらない」だったり、「この町で色々な人と出会えてよかったと思う」といった言葉が多くあつたのがとても印象的です。暮らしている方が、同じ町に暮らす人への意識を強く持っていることも、町にとって一つの大きな特徴ではないか、ということも、論文を書きながら考えました。

この時は少し長く滞在したこともあり、また三回目にもなる顔を覚えて下さる方もいて、町の方々との会話がとても楽しかったです。たった一年前には失礼ながら全く知らなかった竹

皆様のご協力に十分応えられているかは分かりませんが、ひとまず論文を完成させることはできました。けれど私はまだまだ竹田に関わってみたいと思つていますので、これからもお世話話になると思います。改めて、本当にありがとうございます。

炭酸泉の気泡を

温泉療養の気概に変える

竹田市と竹田市観光ツーリズム協会は「国民宿舎直入荘の展望と温泉療養」をテーマに2月18日、竹田市総合社会福祉センターで有識者会議を行いました。直入地域審議会や直入荘「あり方」検討委員会が結論つけた「存続の答申」に対し、その手法に関して意見を聞いた公開討論の内容をお知らせします。

なぜ？最初に売却ありき！

存続手法について、有識者の専門的観点から議論を深めるため、首藤市長をコーディネーターとする5人のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。

会場には多数の来場者が詰めかけ、国民宿舎直入荘への関心の高さが浮き彫りとなりました。

はじめに直入地域審議会の秦安廣会長と直入荘あり方検討委員会の工藤藤男会長が、直入荘の今後に関する市長の諮問に対しての、それぞれの答申内容を説明しました。

直入荘は地域振興の拠点であり、長湯温泉の拠点である。地

域経済の面からも必要で、旅館組合からも競合する中での相乗効果を期待されている。地域住民からも存続の要望が高く、現時点でも黒字経営であることを考えれば、耐震工事等の設備投資を行ったとしても営業努力により、その運営は可能である。

行革という名で「売却ありき」の方針が先行しすぎたのではないかとこの疑問も提示されました。

このような存続という「民意」に対し、専門家から具体的な提言をいただきました。

みんなが経営に参画すべき

議論の口火を切ったのは(株)TB常務取締役の清水慎一氏。



有識者会議の様子。専門家の意見は大きな参考となりました

立教大学教授も務める同氏は、安易な売却や閉鎖の方針を否定されました。温泉の本質に帰り地元の食材や温泉以外の魅力で何より「お客様を楽しませる」努力を行うべき。そして皆が当事者として、例えば協同組合を設立し、指定管理者制度を活用する等の工夫が必要。長湯温泉に一番あっているのは「湯

治」。昔は3週間であったが、現代風にし、3日間の湯治の旅プランを売り出したら東日本で一番売れる商品になった等の温泉療養保健制度に大きな追い風を送ってくれる意見を述べました。

経営者の目線で考える

「いいところ」で有名な(株)三和酒類の西太一郎名誉会長の提言は、経営者の視点からのものでした。商品開発する上で必要なのは、獨創性、購入後のお買い得感、内容が本物か、親しみを感じるか、作り手の誠意、この5つをチェックすること、すぐに結果を求めず、5年、10年先を見越すこと。そして小さなことからできることは掃除。周囲がきれいだとやる気が生まれる、直入荘の窓ガラスがピカピカであれば、いい方向に向かうでしょうというものでした。

湯布院にはない魅力を持つ竹田

旅館経営者の立場と湯布院の国民宿舎を指定管理していた経験からお話いただいたのは、由布院温泉観光協会の桑野和泉会長です。

竹田には長湯温泉はもちろんです、岡城跡をはじめとする歴史



直入荘の将来に一筋の光が差し込んだようです

や文化、全国トップクラスの観光資源、久住高原、食材のそろう荻町の農業など、湯布院にはない魅力を兼ね備えている。それを活かさない手はない。4年間の指定管理を経験したが、毎日が数字との戦いであった。長湯温泉に入ってくる時に明るさを感じる。その直入荘を存続させるためには、みんなの目が必要だと思ふと発言されました。

勇気ある挑戦を続ける覚悟

日本経済が混迷の度合いを深める中、竹田市においても未来を見極め、一致団結した取り組みが求められています。

有識者会議を契機として、存続に向けた具体的手法を検討する「勇気ある挑戦」をすべき時期が到来しました。

私たち一人ひとりの声を県政に反映させるため、必ず投票しましょう

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日 **4月10日(日)**
投票時間 **午前7時～
午後6時**



↑平成22年度明るい選挙ポスターコンクール最優秀賞・田北怜さん(久住中学校3年)〔写真左〕、最優秀賞・田北明さん(久住小学校5年)〔写真右〕の作品

選挙の告示日・投票資格

		県知事選挙	県議会議員選挙
告示日		3月24日(木)	4月1日(金)
投票資格要件	年齢	平成3年4月11日までに生まれた人	
	転入者	平成22年12月23日までに転入の届け出をし、投票日まで引き続き居住している人	平成22年12月31日までに転入の届け出をし、投票日まで引き続き居住している人
	転出者	投票日まで県外に転出した人は投票できません。県内他市町村に転出した人で、下記の①～③の要件を全て満たす人は竹田市で投票できます。 ①竹田市の選挙人名簿に登録されている人で平成22年12月10日以降に県内他市町村に転出した人 ②転出先の市町村に投票日まで引き続き居住している人 ③転出先の市町村の選挙人名簿に登録されていない人 ※転出された人が投票する場合は「居住証明書(引き続き県内の市町村に住所を有する旨の証明書)」を持参していただく必要があります。 「居住証明書」は、市町村の住民票担当課で無料発行されます。	

生かそう一票 あなたの大分県

投票時間・投票所は

●投票日時は、各投票所とも4月10日(日)の午前7時から午後6時までです。

●投票所は次のとおりです。

- 竹田 竹田幼稚園
- 岡本 岡本小学校体育館
- 明治 明治分館
- 豊岡 豊岡小学校体育館
- 城原 城原地区館
- 宮城 宮城台小学校体育館
- 玉来 玉来分館体育館
- 松本 松本分館
- 菅生 菅生分館
- 入田 祖峰小学校体育館
- 姫岳 姫岳分館
- 宮砥 宮砥分館体育館
- 片ヶ瀬 片ヶ瀬集会所
- 荻原 荻原公民館
- 柏原 柏原公民館
- 久住 久住公民館
- 白丹 白丹公民館

都野 都野公民館
直入 直入支所大会議室
下竹田 旧下竹田小学校体育館

投票の順序・方法は

◆投票の順序は

最初に県知事選挙の投票を行い、次に県議会議員選挙の投票を行います。

◆投票の方法は

県知事選挙は、記名式投票です。

投票用紙にすべての候補者の氏名が印刷されていますので、投票したい候補者の氏名の上の欄に○印を一つだけ押してください。

○印は投票記載台に備え付けの押印スタンパーを使用してください。

※注意 期日前投票や不在者投票等は、記名式投票となります。

候補者の氏名を書いて投票してください。

県議会議員選挙は、記名式投票です。

投票用紙に候補者の氏名を書きます。

期日前投票は

投票日当日に、仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等の用務があるなど一定の事由により、ど

投票は『あなたの責任 子どもたちの未来』必ず投票しましょう

期日前投票ができる場所及び期間

今回の選挙は、県知事選挙の告示日(3月24日)と県議会議員選挙の告示日(4月1日)が異なるため、期日前投票ができる期間が投票所により異なります。

期日前投票の場所	期日前投票のできる選挙	期日前投票のできる期間
竹田市役所本庁3階会議室	県知事選挙のみできます(市内全ての地域の方が投票できます)	3月25日～4月1日
竹田市役所本庁3階会議室 竹田市荻支所1階会議室 竹田市久住支所3階会議室 竹田市直入支所大会議室	県知事選挙と県議会議員選挙の両方できます(左記の4投票所であれば、どこでも投票できます)	4月2日～4月9日

注意

3月25日から4月1日までは、県知事選挙のみ期日前投票ができます。そのため、県知事選挙と県議会議員選挙を同時に投票される方は、4月2日から4月9日の間に、投票をお願いします。期日前投票の県知事選挙は、記名式です(投票用紙に候補者氏名を書きます)。

郵便投票は

重度の身体障がい者等で、郵便投票証明書を持っている人に

うしても投票所に行けない人は、期日前投票をすることができきます。
※入場整理券が届いている場合は期日前投票の際に御持参ください。

◇期日前投票ができる時間

各期日前投票所とも午前8時30分から午後8時までです。土曜日・日曜日にも投票できます。

郵便投票は

重度の身体障がい者等で、郵便投票証明書を持っている人に

限って自宅において投票用紙に記載し、郵便で送付できる制度です。

郵便による不在者投票をする人は、事前に郵便投票証明書の交付を受ける必要がありますので早めに申請してください。

郵便による不在者投票の投票用紙等の交付請求期限は、4月6日(水)までです。

手続き等の詳しいことは早めに市選挙管理委員会にお問い合わせください。

▼選挙人名簿の縦覧を行います。

県知事選挙及び県議会議員選挙の選挙時登録による選挙人名簿の縦覧を、次のとおり行います。

選挙名	縦覧日	縦覧時間	場所
県知事選挙	3月24日(木)	午前8時30分～午後5時	竹田市役所選挙管理委員会室
県議会議員選挙	4月1日(金)		

施設での不在者投票は

県指定の病院、老人ホーム等に入院、入所されている人は、施設で不在者投票ができますので施設の事務の方に申し出てください。詳しいことは市選挙管理委員会にお問い合わせください。

開票は

4月10日(日)午後8時から竹田市総合社会福祉センターで行います。

立候補予定者事前説明会の開催

大分県議会議員選挙竹田市選挙区に立候補を予定されている方は、事前説明会を開催しますので、ご出席ください。

投票所入場整理券は

●県知事選挙・県議会議員選挙の投票所入場整理券は3月24日(木)に郵送する予定です。
●投票所入場整理券に記載されている投票所でない場合は投票することができません。

●投票所入場整理券をなくした場合は、投票所で再作成してもらうことができます。

●投票所入場整理券が届かなかったり、内容等に不明な点がありましたら、市選挙管理委

出席者 立候補予定者ごと2名以内

●お問い合わせ

竹田市選挙管理委員会

【平日】 ☎63-1111

【時間外】 ☎63-4814 (内線360)

【時間外】 ☎63-4814



←久住支所に眠る白壁康画伯の
『佛像の彫られたパーミアンの大岩壁』(80号)

久住の庁舎にはこのほかに、久住をこよなく愛した一水会会員、白壁康先生のアフガニスタンでの作品

襲われました。そう、是山記念館に飾られていたあの歌なのであります。もちろん、これも是山先生の直筆でありました。寂しさを越えて、犯罪現場にいるような挫折感に

先月号で、熊本水前寺にある後藤是山記念館のことに触れましたが、何と久住地区のTOP懇談会でも郷土の歴史や文化の重要性が指摘され、同時に久住の旧役場庁舎のことが課題になりました。合併3年前、13億8千万円もの巨額を投じて新築された役場庁舎でしたが、合併して5年。議場は椅子と机が姿を消し、そして町長室をはじめとする豪華な空間もやるせない状況に変貌しています。

狭い空間に精一杯文化を集積し、先人の貴重な足跡を誇らしく演出していた後藤是山記念館と照らし合わせ、何とも情けなく、また私たち行政の責任は大きく、同時に市民の関心の目も向けられなかった寂しさはぬぐいようがありませんでした。「政治は結果。しかし、この現状に責任を取ろうとしないのか」という指摘に真摯に対峙する勇気が求められていると感じています。自責の念に押し潰されそうになりながらかつての町長室に入った私は、埃をかぶった一枚の額にくぎ付けになりました。額に納められていた色紙に揮毫されていたのは、『全きを人に求めず地に座して 遙かに空のまろぎをば見む』。

是山先生の声が聴こえてくるようでした。

こうして、熱を帯びた懇談会から貴重なテーマが生まれ、それは、『記録に残る町から 記憶に残る町へ』であります。記録は過去の羅列ですが、そこに息吹を吹き込んで感動を呼び起こす。感動すること旅人の記憶に残っていく。そんな町づくりこそが、いま求められていると痛感したのでした。「一日も早く久住庁舎再生の扉を、行政と市民が力を合わせて開いて欲しい」

群も積まれています。描かれているのは戦禍に巻き込まれて破壊される前のアフガニスタンの遺産ですから、何となく貴重なんです。誇るべき竹田の遺産ですから、何となく世に出してほしい」と話すのは早川和先生。早川先生は昨年の県美展で会員最高賞に輝いた画家でありますし、白壁先生から一水会へと導かれた門下生でもあります。さらに、竹田市の自治会連合会会長という立場からも、竹田市の文化・芸術の底力を町づくりに役立てなければと訴え続けているのでもあります。

さて、冒頭触れました久住地区のTOP懇談会は志賀三士郎会長ほか自治会長会の音頭で開催されたわけですが、この懇談会を通じて、さらに「大船山に廟がある岡藩第3代藩主の久清公と熊沢蕃山のことにも光を当ててほしい」(麻生丹会長)など、貴重な提言もなされました。

市では、本年度、大阪市で開催されます「地域学講座・岡藩由学館竹田塾in大阪」に「豊後竹田会」の協力を期待しています。

関西・東海地区に在住する新竹田市及び竹田高校・竹田商業高校の出身者を対象として2月5日大阪市で約80人の参加者により「豊後竹田会」が発足いたしました。

これは、合併以前より関西、東海地域に多くの竹田市出身者が在住しており、旧市町単位の「竹田会」を1市3町合併に伴って「同じふるさと」を合言葉に旧市町単位の代表者が発起人となり、念願でありました「豊後竹田会」を設立したものです。

設立総会には、首藤竹田市長や、杉岡大阪・神戸竹田事務所長が来賓として地域の状況や情報発信のお願いなど挨拶、また総会では、発起人の竹田商業高校代表であります上原辰之氏が初代会長として承認されました。懇親会では、竹田市出身の演歌歌手の熱演や同じ地域に住みながら、初対面など、地域の話題で交流の輪が広がり、盛会裏の中に賑やかに行われ閉会いたしました。

(ふるさと納税にご協力をいただきました皆様にも感謝します。市長)

「豊後竹田会」 念願の発足

有由縁

市長コラム
〈第20回〉



文化資源を活かした町づくりをおもむ

記録に残る町から 記憶に残る町へ

有由縁(ゆうゆうえん)

文豪川端康成が晩年、よく揮毫したのが『有由縁』。人との出会いや物事との接点が生まれるのは、偶然ではなく、それなりの理由が働くからであるという意味。昭和27年、取材旅行を兼ね、友人高田力蔵の案内で竹田市を訪れ、竹田高校で講演した川端との縁は、まさに目には見えない力だけれど、神の配剤としか思えない。

『九州高文連 第10回九州高文連吹奏楽大会』に出場する
竹田高校器楽部顧問ひき いた ゆう いち
引田 裕 一

(大分県立竹田高等学校「世界史」教師・39歳)

生徒や地域に育てられ、
竹田は僕を変えてくれました

『平成22年度高文連ブラスカーニバル』が1月8日、大分県立芸術会館文化ホールで開催され、竹田高校器楽部は金賞(九州推薦)を獲得し、3月19・20日に行われる『九州高文連吹奏楽大会』(福岡県飯塚市)への出場が決まりました。

引田裕一先生自身、中学校時代はブラスバンド部で活躍をし、将来を有望視されていました。しかし、吹奏楽のトップレベルの大学に進学するも、学業に専念することを決意。思えば人生の転機のひとつだと振り返ります。

竹田高校器楽部は、一昔前ま

で顧問の教師が指揮者として、指導をする部活動ではありませんでした。高校時代、同じ境遇を経験したこともあり、自分が生徒の役に立てるのであればと引き受けたそうです。

赴任して6年目。平成20年度高文連ブラスカーニバルでは、金賞を獲得し全国大会出場という史上初の快挙を達成。これまでの器楽部員の意識を変えたと言っても過言ではありません。でも、先生の思いは正反対のものでした。

「生徒や地域に育てられ、竹田が僕を変えてくれましたね」
純朴で、素直で、真摯でひた



↑「一番嬉しいのは望んだ音がした時。これは、泣きますね。出ないときは、正直に怒鳴りますけど(笑)」

向きな態度。続けていくことの大切さを生徒たちはすでに知っていることに、気がついたそうです。竹田高校の生徒は素晴らしい。竹田高校を日本一だと思う。日本一の演奏ができないのは僕の責任だと思うようになり、

国民健康保険

おめでとうございます

健康世帯表彰

竹田市国民健康保険では、平成20年度から平成21年度までの2年間に、一度も医療機関にかかることなく、しかも、保険税を納期内に完納し、かつ、健診を受けている世帯を健康優良世帯として表彰しました。表彰者は、次のとおりです。(敬称略)

松井和子(竹田)、阿南英信(荻)、
菊池昭治(久住)、首藤克己(直入)

国民健康保険高齢受給者証
をお持ちの人へ

平成23年4月から、70〜74

それを追求し始めたのが3年目を過ぎた頃。信頼する生徒たちと対話を重ね、これまでになく厳しい練習を取り入れることになり、著しい成長を遂げていきました。

最後に「夢」を尋ねました。

「生徒のために新しい楽器が欲しい(…多大なるご支援ありがとうございます)」

常に器楽部のことを思う引田裕一先生。竹田高校器楽部が日本一の演奏を届けてくれる日は、そう遠くではないでしょう。

歳の方で医療機関での窓口負担が1割の人は、2割に引き上げられる予定でしたが、平成24年3月までの1年間、医療機関での窓口負担が1割に据え置かれます。(3割負担の方は変更はありません)

現在お持ちの高齢受給者証の一部負担金の割合が「2割(23年3月31日までは1割)」と表示されている人には、3月中旬に新しい高齢受給者証を送付します。

●お問い合わせ 竹田市保険課
国保・高齢者医療係

☎63-11111

(内線135-136-137)

B&G海洋センターが「特A」の評価を獲得

スポーツ・健康・人づくりの拠点として



↑竹田市直入B&G海洋センター



↑中学生のバレーボール大会

竹田市直入B&G海洋センターは、平成21年度分の活動実績が6段階評価の「特A」となり、B&G財団が主催する全国市長会議（東京都・1月27日）で表彰状を授与されました。利用者数や事業実施状況、B&G指導員の配置などを点数化した結果50点満点中40点以上を獲得し、最高評価を得たものです。（評価は、特A・A・B・C・D・Eの順）同財団がモーターボート競走の収益金をもとに全国で展開する事業の1つとして平成4年に竣工した体育館（直入公民館横）と艇庫（長湯ダム）は、平成7年に無償譲渡され、合併後も新市が条例及び施行規則に基づき、管理運営しています。

同センターは市内外の中学校を対象としたバレーボール大会を実施するなど、地域を問わずスポーツを通じた人間形成に大きな役割を果たしています。今後も市民の皆さんの積極的なご利用をお願いします。



↑市内の子どもたちも特別出演

2月20日、大分県立芸術文化短期大学は、ルネッサンスの巨匠と称された、ラファエロの37年という短い生涯を描いた創作劇「RAFFAELLOーラファエロー」を竹田市文化会館大ホールで上演しました。

芸短生が創作音楽劇を熱演



↑姉妹が「アルバニア人」に変装した婚約者と祝宴をあげる一幕

また同時上映として、モーツァルトの歌劇「コジ・ファン・トゥッテ～恋人たちの学校～」を上演。オペラの歌詞は、字幕スーパーで現代風に解説されました。カーテンコールでは、会場からは惜しめない拍手が贈られました。



南高生がボランティア清掃

1月31日、竹田南高校（土崎谷夫校長）の生徒が卒業式を前に、学生生活を過ごした竹田の町をきれいにしようと「卒業ボランティア清掃」を行いました。

3年生47人は、学校周辺の田町や向町のゴミを熱心に拾っていました。ありがとうございました。



安心して暮らせる地域へ

2月6日、豊肥地区解放文化祭がくじゅうサンホールで行われました。

竹田市、豊後大野市内の小中学校生約140人が参加。

『人権』をテーマに、学習発表や演劇などを披露し、ともに差別のない地域をめざすことを誓いました。



市道荻菅生線に歩道橋設置

荻町中心部と国道57号線を結ぶ市道荻菅生線の歩道がまもなく完成します。

平成13年度から県営中山間地域総合整備事業により歩道工事に着手して、2月17日尾元橋に歩道橋が設置されました。

通学生の安全確保と地域住民の利便性が図られることになり3月末の完成を待ち望んでいます。（写真は大型クレーンによる共吊り工法）



↑大声援を受けてゴールに駆け込む渡邊選手

渡邊一義選手が “竹田入り”

春季県体「第53回県内一周大分合同
駅伝大会」(2月21日～25日)が行わ
れました。

2日目(22日)、渡邊一義選手(南部
農業共済組合・21歳)が力強い走り
で“竹田入り”を果たすと、「地元のみ
なさんの応援のお陰で走り切ることが
できました。ありがとうございます」と
話してくれました。

第15回若山牧水賞に 川野里子さん (竹田市出身)

優れた短歌文学の歌集の作者
に贈られる第15回若山牧水賞
(宮崎県・日向市・延岡市等主催)
に竹田市出身で千葉市在住の歌
人・川野里子さんが選ばれ、2
月9日～10日に宮崎県で授賞式
と記念講演会が行われました。

この賞は、宮崎県日向市に生
まれ、日本短歌史に大きな足跡
を残した国民的歌人・若山牧水
の顕彰と短歌文学界の発展を目
的に、平成8年から毎年その年
に発行された歌集などの中から
有力歌人の選考により、傑出し
た功績を挙げた作家に贈られて
います。川野さんの受賞作品第
四歌集「王者の道」(角川書店)
は昨年8月に発行されました。

川野さんは、歌誌「かりん」に
所属し短歌や短歌評論を書き、
平成15年に歌集「太陽の壺」で河
野愛子賞、昨年は評論集「幻想
の重量・葛原妙子の戦後短歌」で
第6回葛原妙子賞を受賞してい
ます。

「短歌というささやかな分野
ではありますが、その魅力にと
りつかれて気がつけば30年を夢
中で言葉を追いかけてきました。
何かを書くこう、思い描こうとす
るとき、いつも竹田の空気が気
配のようなものが心をよぎりま
す。竹田の湛えているさまざま
な文化の奥行きがいつも私を支
えていてくれます。今後とも
見守っていただければ大変嬉
しいです。故郷、竹田の温かさ
に心から感謝申し上げます。」と
受賞にあたってのメッセージを
いただきました。



認知症予防講演会

認知症の理解と支えあう地域づくり

～やさしさと思いやりのある地域にむけて～

2月18日、直入公民館を会場に認知症予防講演会が開催さ
れました。本市における認知症の現状報告のあと、社団法人大
分県社会福祉士会理事の明石二郎先生の講演が行われました。

「認知症の症状をゆで卵に例
えると黄身と白身にわけられ
ます。黄身は記憶障害、時間
や場所がわからなくなる見当
識障害、理解力や判断力の低
下などが起きる中核症状です。
白身は周辺症状といい、徘徊・
暴力や失認・失行、妄想やうつ
状態がこれに該当します。こ
の周辺症状は本人に過度にス
トレスを与える不適切な環境
や対応により出現します。高
齢社会が進行する中、いつ誰
が認知症になるかわかりませ
ん。もしかしたら私になるか
もしれません。これからは予
防も大切ですが、白身の周辺
症状が出現しないように正し
い理解と対応を学ぶことが重
要です。さらに認知症になっ
ても安心して暮らせるような
地域をつくること、介護され
る家族を地域で支えることが
大切です。認知症になっても
心はぼけないのですよ」

先生の体験を交えて、やさ
しさあふれる講演でした。

講演終了後は包括支援セン
ターより認知症家族会「笑顔の
会」の紹介がありました。家
族会はおおむね月一回集まり、
学習やリフレッシュのための
レクリエーション、悩みをみ
んなで話し合うなどの活動を
しています。

参加者は「同じ悩みを持つ
もの同士なので何でも話せる、
心の支えになっています」と、
この集まりを楽しみにしてい
るようです。

(家族会に関するお問い合わせ
先は竹田市包括支援センター
☎64-10310まで)



↑講演をする明石二郎先生

TOP懇談会2

「竹田」もしくは「トライ」の「T」、「オリジナル」もしくは「オンリーワン」の「O」、プロジェクトの「P」

久住地域 (1/27) ・竹田地区 (2/14)

久住地域の パワー結集を

会場の久住公民館には、70人余りの市民の皆さんが出席しました。首藤市長が行政全般にわたる説明を行った後、久住地域自治会長会の志賀三士郎会長が司会進行、様々な意見や要望をいただきました。

久住にも道の駅がほしい、青年団の復活や老人クラブ活動の活性化、税金滞納の問題や自治会運営に関することなどです。中でも久住観光の活性化を叫ぶご意見が多く寄せられたことに、この地域の特徴が見てとれました。

畜産の戦略拠点でありながら、県内、いや全国屈指の観光資源を有する高原の再生に多くの市民の皆さんが期待を寄せている実態を推進力に変えなければなりません。

TOP運動のP、プロジェクトをあえてパワーと紹介した志賀会長の言葉に久住の団結力の高まりを感じる事ができた懇談会でした。

市民の意見を 反映したまちづくり

31自治会を有する竹田地区自治会長会。この地区を対象とした第2次TOP懇談会の会場、商工会議所2階ホールには、各自治会役員を中心とした30名あまりが詰め掛けました。

事前にいただいた要望事項には、地区内の道路改修や災害時の指定避難場所の変更要望、廣瀬武夫の墓地の危険箇所整備、コミュニティバスの運行などとあわせ、エコミュージアム構想の根幹をなす図書館の建設要望について、首藤市長をはじめとする執行部が回答を行い、出席者の理解を求めました。都市計画マスタープランの策定完了を来年度に控え、そのプ



→ いたいた竹田地区
TOP懇談会
活発な意見を
いただいた

ランに大きく左右される図書館建設については、市民の声を聞く中で、行政がトータルにコーディネートする必要性をあらためて訴えました。

早川和会長が進めた意見交換の場では、4月から運行を開始するYOKAROBASの詳細説明を求める意見やケーブルテレビに関する要望、高齢者や一人暮らし世帯に対する行政姿勢を聞いた対話場面もあらわれ、「あつたか対話行政」を標榜する竹田市に大きな指針を授けてくれました。

竹田市特定家畜伝染病総合対策本部設置

風評を恐れず 冷静な対応を!

鳥インフルエンザとは?

偶蹄目に発生する口蹄疫と違い、鳥インフルエンザは人にも感染する危険性があります。飼っている鳥が死んだ、複数の野鳥の死を見かけた時などは、すぐに市役所や県の機関に通報ください。

の皆さんには、感染防止や被害拡大に向け全力で対策を講じている現在の状況を理解のうえ、冷静な対応をお願いします。

●お問い合わせ

竹田市農政課

☎63-4805

竹田市農政課畜産振興室

☎76-0021



↑緊急対策が話し合われる総合対策本部 (2月3日)



知産知消のすすめ

花水月発 竹田の観光関連情報

「知産知消」とは、知人が生産したものを、遠くの知人を介して消費の輪を広げていくことです。

生産者！あなたが主役

これからも熟年パワー
発揮します！



佐藤 精治さん

(荻町南河内・62歳)

妻を含めた4人で加工所「夢ボタル」を運営、その販売担当として、市内を飛び回っています。道の駅だけでなく、市役所職員などのお得意さんにも米粉パンとかしわ飯の販売を行っています。お客さんの笑顔が、何より私の元気の源です。



農村商社わかば



まちなかに新たな拠点が誕生します

食育ツーリズムコーナーでもお伝えしているとおり、実現事業の終了に伴い「エリアラボたけた」が3月末で閉店します。農村商社わかばは、これを好機と捉え、その施設を活用し、4月からまちなかの基幹店をオープンすることになりました。

現在、名称をはじめ、経済活性化(パッケージ)事業などで開発が進められた農産加工品の販売や観光案内の機能の充実など、まちなかの賑わい創出に効果を与えるような事業内容について検討を重ねています。

新たな拠点を得て、城下町再生にも一石を投じる作業が加わりました。



春の山菜 顔を出しはじめたよ！

この時期はどうしても野菜の出荷量が落ち込みますが、それを補うかのように、山菜が店内に顔をのぞかせるようになりました。写真の「ふきのとう」をはじめ、これから旬の「たらの芽」やセリなど、春の訪れをしっかりと告げてくれる新鮮な食材が、皆さんをお待ちしています。

【新商品紹介】地産地加地消の商品づくり



(清流珍味シリーズ) エノハのわたうるか、鮎うるか、川魚のやわらか姿煮

岡城物産 (後藤二郎)

入田の名水で育ったエノハの希少な「わたうるか」を始め、大野川水系の鮎でつくった「うるか」など全て生産者の丁寧な手作業でできたもの。姿煮はまるごとほろりと柔らかく上品な味付けで仕上げられています。いずれも名水から生まれた贅沢な逸品。お酒やご飯のお供、またアンチョビの代わりにパスタと合わせてもおいしく召し上がれます。

■販売場所：竹田温泉花水月
道の駅竹田 道の駅すごう
その他

食育ツーリズムコーナー

竹田こだわり物産市 たけた食育ツーリズム 大感謝祭2011

開催主旨

平成23年1月24日に設立された「たけた食ネットワーク」は、平成19年度から取り組んできた地域雇用創造推進事業及び実現事業に関わってきた創業者を中心に結成されました。販路開拓や各種研修、新商品開発など創業者の連携による「竹田ブランド」の確立を図り、それぞれの所得の向上や組織の発展を目指しています。

「エリアラボたけた」は、チャレンジショップとして創業を目指す市民や商品のショールーム、事業紹介や研修の場として多くの市民に利用されてきましたが、本年3月、実現事業の終了に伴い閉店します。4月以降はこれまでの成果をもとに、新たな特産品販売拠点施設として検討されていますが、事業の節目として「たけた食ネットワーク」が主催し、竹田こだわり物産市を開催します。また、共催として「旬旅」コーナーや協議会の事業紹介コーナーを設置します。

皆様にご披露申し上げ、引き続きのご支援ご協力を賜りたいと願っております。



日時 3月19日(土)～21日(祝)
場所 エリアラボたけた
(大分銀行前)

- 商品紹介・販売コーナー (たけた食ネットワークの商品30品)
- 旬旅コーナー (竹田ならではの旅の紹介コーナー)
- 事業紹介コーナー (パッケージ事業や実現事業等の進捗報告)

食育ツーリズム 竹田市経済活性化促進協議会 ●お問い合わせ 竹田市経済活性化促進協議会 ☎ 62-2122
ホームページ <http://taketa-syokuiku.org/>



県広報コンクールまたしても入選ならず

「広報たけた」は本当にダメなのか？

2月3日、「平成22年度大分県広報コンクール」表彰式は大分県庁で行われました。しかし、その表彰者のなかには、今年も竹田の市報「広報たけた」の名前はありませんでした。今回は「広報紙」のあり方を考えます。

■見づらい、わかりづらい、インパクトがない「広報たけた」

県広報コンクールは「県内市町村の広報活動の質的向上に資するため」を趣旨に年に一度、その年の広報媒体として利用した「広報紙」、「ウェブサイト」、「写真」、「映像」、「広報企画」の各部門にて募集されています。特選1点は全国コンクールに推薦されますので、広報担当者の向上心をかき立てる高い目標となっているのです。その1年で編集に最も力の入った8月号を応募しましたが、結果は今年も落選…。審査員の先生方からいただいた講評は次のとおりです。

竹田市 広報たけた8月号の講評

・各ページ、ばらばらで統一感がまったくない。見づらい、わかりづらい、良い写真もたくさんあるが、(特に表紙、なんで表紙にあるのか分からない)
・よく取材されているのに、(レイアウト・デザインに)レギュラーものと特集とのメリハリがないために、インパクトに欠ける。

読ませる工夫がほしい。

・32ページというボリュームを生かして、構成内容を充実させている。各所に読んでもらうためのコーナーづくりが上手！

【審査員】

竹内康訓(すたちおZOO)

池辺清信(株式会社 大宣部長)

野田恭子(フリーライター)

平原健史(大分県広報広聴課長)

■今後の「広報紙」のあり方は

読者である市民のみならずも審査講評と同じ感想をお持ちでしょうか？

現在、「広報たけた」はレイアウト、デザイン、写真など、市職員担当者が手掛けています。2年前に「市報?読まんなあ」という声を耳にした時から従来の「お知らせ広報」(行政からのお知らせだけを掲載したもの)を脱すべく、「情報発信型」の紙面づくりを心掛けてきたつもりです。

市報のご意見、「ご感想などをこの機会にお聞かせください。(以下次号)」
E-mail: taketa@city.taketa.lg.jp



←コンクールに応募した平成22年8月号
(<http://www.city.taketa.oita.jp/>)

↑特選を受賞した佐伯市の「市報さいき 12/1号」
(<http://www.city.saiki.oita.jp/>)

歩いて行ける場所に集いの場を

おしゃべりサロン

竹田市では、高齢者が自治会・公民館など自宅から歩いて行ける身近な場所に集い、介護予防活動を行う「おしゃべりサロン」事業を実施しています。今回は、地域で活動しているおしゃべりサロンを紹介します。

の歌で始まります。皆さん、ピアノに合わせて大きな声で童謡や民謡を歌います。また手芸や手遊びのゲームなどもサポーターさんが企画してくれ、参加者は大変喜んでいました。

★荻地域桜町東おしゃべりサロン
桜町東おしゃべりサロンは平成21年度に発足しました。会員数17名で最高年齢は97歳です。このサロンの特徴は2人の民生委員さんがサポーターとして参加していることです。毎回サポーターさん持参の電子ピアノ

大きな自治会で、市・県営住宅があり、若者が多く、隣近所のコミュニケーションがとれにくくなっている現状です。そんな中、民生委員さんから閉じこもりがちな高齢者の介護予防に気軽に寄れるサロンを作りたいと話があり、自治会の協力を得て発会しました。

桜町東自治会は荻地域で一番大きな自治会で、市・県営住宅があり、若者が多く、隣近所のコミュニケーションがとれにくくなっている現状です。そんな中、民生委員さんから閉じこもりがちな高齢者の介護予防に気軽に寄れるサロンを作りたいと話があり、自治会の協力を得て発会しました。

じてはかわいそうだと自治会の役員会で改造を決定してくれました。畳からフローアールに変わり、高齢者が座りやすいように椅子も購入されました。トイレも洋式に改造され、公民館に新しくスロープも設置されました。当時の自治会長さんが大工さんで、たまたま自治会内に他にも大工さんがいたので応援を求め、建築していただいたそうです。高齢者の皆さんが喜ばないはずがありません。お礼にサロンで自治会の役員さんをお招きし、交流を図りました。

桜町東おしゃべりサロンは自治会の皆さんの温かい支援に守られて活動をしています。

保健だより



竹田市健康増進課 ☎63-4810
荻支所いきいき市民課 ☎68-2211
久住支所いきいき市民課 ☎76-1111
直入支所いきいき市民課 ☎75-2142



↑荻地域桜町東おしゃべりサロンのみなさん

サロンができて一番変わったことは自治会が公民館の改造をしてくれたことです。サロンを開催するのに高齢者が不便を感じ

平成23年度 新規サロンを募集します

- 対象者：1サロン65歳以上。5人以上で申請ください。
運営費：登録人数×活動回数×100円を助成。
内容：おおむね月1回以上（上限年24回）活動ください。内容・時間などは各サロンで話し合ってください。
申請：健康増進課・荻いきいき市民課・久住いきいき市民課に用紙を準備しています。3月11日（金）までに申請ください。
※直入地域は社会福祉協議会直入支所にご相談ください。

【作り方】

- 豆腐は半日重しをするか、レンジで加熱して水切りする。
- 高菜は軟らかい部分を塩ゆでし、水にとって冷まし、3cm長さに切る。
- ひじきは戻す。人参とこんにゃくは3cm長さの短冊に切る。
- 鍋にサラダ油を熱し、2の材料を炒め、だし汁と調味料で煮含める。
- ゴマは香ばしく炒ってすり鉢で摺り、1の豆腐も入れてさらによく摺り、砂糖、塩を混ぜ合わせて味を調え、材料を和える。



今月の「食育」レシピ



高菜の白和え

〈今月の食材〉高菜

カラシナの変種で中国から入ってきたと云われています。西日本一帯で広く栽培され、阿蘇高菜や三池高菜と並んで有名なのが久住高菜です。秋に種を植えて、冬の寒い5ヶ月間畑の中でじっくりと成長し、暖かくなった3月末、新芽を丁寧に手折りする姿は春の風物詩です。厳寒の高冷地久住だからこそそのピリッとした辛味と独特な風味が特徴です。生で食べると緑黄色野菜同様、カロテンやカルシウムなどを多く含んでいます。高菜漬けは、乳酸発酵して乳酸菌が豊富。また漬物にすることでわさびと同じ辛味成分が強くなり、食欲を増進させたり、殺菌作用がありますが、おいしいといって食べ過ぎると、胃をやられたり、塩分のとり過ぎになるので注意が必要です。

〈材料〉4人分

- 高菜(生) 200g
ひじき(乾燥) 10g
人参 40g
こんにゃく 60g
サラダ油 小さじ1

- だし汁 100cc
みりん 大さじ1
薄口醤油 大さじ1
木綿豆腐 1丁
白ゴマ 大さじ1
砂糖 大さじ1
塩 小さじ1/2

ぼくたち・わたしたちの学び舎

「ぼくたちのような集いのある子どもたち」を育てたい

これまで長期にわたり築かれた、伝統ある都野保育所でありましたが、平成22年4月竹田市より指定管理を、社会福祉法人愛の園福祉会が引き受け、公設民営の都野保育所として、新たにスタートいたしました。

ご案内のように今日では、核家族化とともに地域の子育て力が低下しているともいわれ、さらに超少子高齢化が進む中で、運営は大変厳しいものがありますが、地域の児童福祉施設として保育、子育てなど多様なニーズに応えるために、更なる保育サービスを図るべく保育、教育に取り組んでいます。



↑第1回夕涼み会（オープニング）

「幼児期の養育は極めて大切です」子どもを心豊かにたくましく育てるとともに、幼児期に無限の可能性を芽生えさせることが肝要ともいわれています。

自然に恵まれた素晴らしい生活環境の「森のほいくえん」です。色んな行事を重ねながら、「心身ともに鍛える」をモットーに、園外活動として体験保育やかけっこなど遊びを通じて体と感性を育てることへの挑戦も試みたいと思っています。

また、新年度からは特色保育として、日常生活や遊びを通じて自然に英語が吸収されるラボや、給食の食材となる野菜に興



↑高齢者との交流会（踊り披露）

都野保育所



↑クッキング（ホットケーキづくり）

味をもたせるための食育などを、前面に出していきたいとも考えています。

初年度は、思うような成果を達成できなかったようにもありませんが、幸い保護者の皆様や地域の方々及び竹田市のご支援とご協力をたまわり、夕涼み会や運動会、発表会など数々の園行事も、とどこおりなく終わり、3月にはめでたく第1回卒園生を送ることができた予定です。

若くてこじんまりした比較的小規模な保育所ですが、皆さんから都野保育所へ行ってみたいと思われような、そして今後とも「幼い子どもたちのはじけるような、楽しい姿が目に見えるような、保育所を目指して、職員一同より一層精進し、保育の質の維持向上に努めたいと頑張っています。（所長 甲斐 美紀）

まのりつと博物館

66

長湯温泉の北方2.5kmの社家地区に、景行天皇西征の時熊襲（土蜘蛛）討滅の祈願をしたと日本書紀に記されている初山神社がある。

この神社の正面鳥居の両脇に樹高35m、幹囲約5m余、樹齢400年と推定される杉の老樹がある。苔むした石段を昇るとその両側にもこの杉と同じ位の巨木が8本（町指定天然記念物）うっそうと茂っている。

その参道の中程に一際目立つ大ケヤキ（県指定）がある。このケヤキは初山神社の御神木である。根元から約1mの処に縦2m横4m厚さ1mの大きなコブがあり、コブ上の幹囲8.6m、根張四方8m



↑初山神社の大ケヤキ

鎮守の杜 初山神社

余の巨木である。このケヤキには木全体に大小無数のコブがあり、枝分かれの各処にはスギ、グミ、サカキ、イチヨウなどの木々が寄生しており樹齢800年から1000年と推定されている。国指定の巨木は合わせて23件あるといわれているが、このケヤキは全国的なレベルに達する巨木で九州地区第3位に位する。

また神門をくぐり境内の右端に根際から二又に分かれた推定400年といわれる大ケヤキがある。幹囲5.5m、枝張り東西38m南北20m樹高36mの巨木である。

これらの巨木の他にこの神社の社屋を囲んで百年二百年を経た杉が立ち並び、この神社が由緒ある神社として崇敬された面目を漂わせている。

これらの老木巨木は樹勢もよく、なつかしい温もりの響きをもつ「鎮守の杜」を成しており末永く後世に遺さねばならない大事な遺産である。

（清水 誠一）

参考：「ふるさとのプロムナード」（直人町教育委員会編）

ふるさと風韻

竹田市は、夢と理想と志を思い起こさせるまちである。

竹田市出身でご活躍の先輩方に、生まれ育ったまちの空気感に思いを馳せ、自由に筆を走らせていただいた。いま自分の人生に風を吹かせながら…



「原点 竹田」

去る者は
日々に疎しといわれども
忘るる間ぞなき 荒城の月
稚拙な歌で恥じ入るが、転勤
で竹田を離れて11年になる今の、
偽らざる思いだ。

竹田市と旧直入郡、旧大野郡
の朝地町を取材エリアとする大
分合同新聞の竹田支局に赴任し
たのは1995年4月。入社5
年目、27歳だった。それまでの
4年間は警察担当記者で、事件
事故以外の取材経験はほとんど
なかった。

竹田では行政や選挙、農林業、
観光、文化、教育、町づくりと、
あらゆる分野の取材を経験し、
人情にもふれた。地域を見つめ
るローカル紙の記者としての原
点は、竹田での5年間にあると
思っている。

現在は本社文化科学部でデス
ク業務の傍ら、夕刊で月2回
「自産自消」という連載記事を書
いている。自分で野菜を育て、
料理して食べる喜びを読者に伝
えようと2年前に始めた。そこ
にはさらに、野菜の旬や野菜本
来のうまさ、食の安全のコスト、
隣近所とのコミュニケーション
の大切さ—などを伝えたいと
いう願いも込められている。この連
載のきっかけも、竹田での暮ら

しだ。

支局在任中の夏のある日、市
が入田に開設した貸農園に空い
た区画があると聞き、仲がよ
かった市の職員と一緒に「借り
よう」という話になった。1区
画3坪ほどの菜園で、当時、自
分で打つ手打ちそばがブームに
なっていたこともあり、あまり
手を掛けないでも育ちそうなソ
バを植えることにした。

8月下旬に種をまいて、案の
定、植えつばなし。それでも11
月の初霜が降りる前には、何と
か収穫できた。聞けば、貸農園
を管理している地元のおっちゃん
たちが、あまりの荒れようを
見かねて、手入れをしてくれて
いたそうだ。

脱粒したソバの実は一升瓶1
本にも満たなかった。相方が九
重野で石臼を使わせてくれる農
家を見つけたので、2人で押し
掛けて製粉させてもらった。

その年の大みそか。山芋と小
麦粉をつなぎにして、我流で初
めて、相方とそばを打った。厚
くてブツブツ切れたけど、粉を
挽いて間もない、ゆでたてのそ
ばは香りがよかった。添加物一
切なしというのもうれしかった。
この体験が、素材から自分で作
る食の楽しさを教えてくれた。

自産自消の舞台は、両親が亡
くなって普段は空き家になって
いる大分市松岡の実家の菜園。
農家のせがれだが過去に農業経
験はほとんどなく、本やネット、
園芸店のアドバイザーを参考に、
さらに家の前を通り掛かる近所
のおっちゃん、おばちゃんたち
を呼び止めて教えを請いながら、
悪戦苦闘している。

昨年秋、ゴマを収穫して脱粒
した後に選別に困ったという話
を記事にしたら、「あんた、どん
かなあ。これこれ、こうするん
よ」と職場に読者から電話がか
かった。米納のばあちゃんから
だった。稲刈りが終わった日に
は、中角のおっちゃんが、どぶ
ろくを手土産に訪ねてきた。

一昨年、荻のおばちゃんから
習ったこんにゃくのレシピは、
取れたこんにゃくが小さ過ぎ
てまだ実践できていないが、大事
に引き出しの中にしまっている。
竹田とは今もつながっている
と感じる。そして、竹田にいた
時にお世話になった方も含めて、
恩返しをしたとも思う。竹田
の人たちは、市出身者や市で暮
らしたことがある人たちに、も
うちよつと頼み事をしてみても
ばちは当たらないのではないだ
ろうか。同じ思いの「竹田思民」
は多いはずだ。

追伸 竹田で生まれた娘は今
春、中学2年生になる。



た さ き けい ぞう 田 崎 啓 三 略 歴

1968年 大分市生まれ 大分鶴崎高校、大分大学経済学部卒
1991年 大分合同新聞入社 社会部に配属
1995年 竹田支局長
2000年 経済部
2006年 日田支社長
2009年～文化科学部次長
竹田市に出先機関がある官庁や民間企業の竹田駐在員が1997
年に結成した竹田の応援団「竹田ふるさとシンフォニック倶
楽部」の設立メンバー。現在も当時の仲間と定期的に集まっ
て旧交を温めつつ、竹田の魅力を周囲にPRしている



↑無農薬の野菜づくりに奮闘中の田崎記者。週末菜園生活「自産自消」は、月2回大分合同新聞夕刊で好評連載中



「画聖」田能村竹田の高弟

田能村直入

田能村直入（1814～1907）

は岡藩城下町竹田の寺町で生まれました。直入は幼少から画技に秀で、10代から同郷の南画家田能村竹田（1777～1835）に師事しました。その後、直入は天保10年（1839）に大坂に出て、幕末の堺・大坂を代表する南画家の一人として名をなします。

また、篠崎小竹（1781～1851）・広瀬旭莊（1807～1863）といった著名な文人たちや大名家と交流を深め、文久2年（1862）には大坂で大規模な煎茶

会を開催するなど南画家の枠に留まらない活躍を見せました。

直入は明治維新後に京都に移り住み、明治11年（1878）には近代的美術教育機関として画学校の設立を京都府知事に建言し、明治13年（1880）に京都府画学校（現＝京都市立芸術大学）が設立されると初代摂理（校長）に就任しました。

このように田能村直入は幕末期から明治時代にかけて郷土出身のすぐれた南画家というだけでなく西日本を舞台に活躍した文人でもありました。

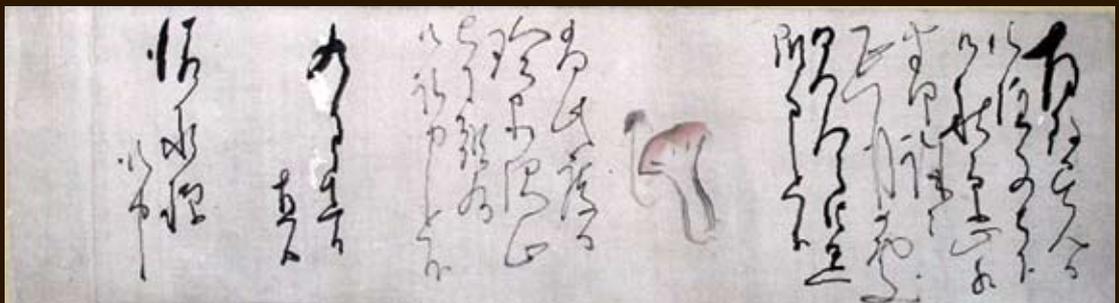


↑『蘭亭曲水図及記』（竹田市立歴史資料館蔵）
明治5年（1872）、直入59歳の時の作品です。中国南北朝期の東晋の王羲之が永和9年（353）に開催した曲水の宴に取材したものです。
なお、曲水の宴は日本にも伝わり、3月3日に行われる年中行事となりました。



←直入生誕の地
田能村直入は文化11年（1814）、竹田の寺町に生まれました。現在生誕地（大分銀行裏・竹田市寺町）にはこのように記念碑が建てられています。

竹田が生んだ明治の南画家



→
田能村直入
絵入書簡
（竹田市立歴史資料館蔵）

竹田市立歴史資料館常設展
田能村直入展
2/26(土)～4/28(木)

史料館蔵品を中心に直入の画業を紹介する「田能村直入展」を開催しています。ぜひ一度ご来館ください。

〔開館時間〕 9:00～17:00
〔休館日〕 月曜日 祝日の翌日
（月曜日が祝日の場合は開館）

●お問い合わせ
竹田市立歴史資料館 ☎63-1923

→
田能村直入
絵入書簡
（竹田市立歴史資料館蔵）

田能村直入
絵入書簡翻刻
（本文）
拜啓先日
御注文被下
候秋景山水
半切誠ニ
延引の処
則今任候、
附申上候
追

尚此度ハ
珍品沢山
被下難有
御礼申上候
直入
九月十一日
清水様
御中

絵

遅れてゴメン。きのこの絵でお許しを!?

清水という人に対して田能村直入が、依頼されていた秋景山水図に今取りかかっているの、また連絡しますと釈明しているものです。手紙の中央にはお詫びとしてのきのこの絵が描かれています。この清水という人は文面から、直入のパトロニックな存在であったと推測されます。



図：閉鎖花

郷土の植物

(265)

阿孫 久見

第72回

センボンヤリ(キク科)

丘陵地の日当たりのいい道沿いやススキ草原などに生育する春は高さ15センチ、秋は30センチほどになる季節により草丈が違ふ多年草です。
 若い根生葉はまだ卵形で斜上しています。葉の裏面の白いクモ毛が目立ちます。成長した葉はタンポポに似て羽状に裂け、長さ15センチ、幅が6センチほどで根元から放射状に広がります。

ただ可憐に咲かせます。そして秋にもう一度花茎を30センチ以上にも伸ばし筒状花のみが集まった、つぼみ(図参照)に見える長さ1・5センチほどの閉鎖花(自花受粉する花)を咲かせます。これが結実し淡褐色の冠毛をつけた、まるで毛槍のような円形状の種子をつけます。
 秋に林立する細長い花茎の姿を千本槍に見立ててこの名があります。
 竹田では里山の道端の草地や久住高原などで観察されませんが個体はさほど多くありません。花期は4月と10月です。



平成22年3月生まれ

誕生日 親
(自治会)

平成23年4月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します!

問 秘書広報係 ☎63-1043



アッパシ!
 甲斐ヒデコさん
 100歳



アッパシ!
 阿南明さん
 100歳

2月10日に甲斐ヒデコさん(一本木)がめでたく満100歳を迎えました。長年、農業に従事。今も縫い物が好きだそうです。長生きの秘訣は「くよくよしないこと」と話す甲斐さん、いつまでもお元気で。

1月27日に阿南明さん(井手の上)がめでたく満100歳を迎えました。農林業に従事する傍ら、市議を3期務め、議長も経験されました。長生きの秘訣は「家庭円満」と話す阿南さん、いつまでもお元気で。



「散椿」
 行く春の虚しさを読み取るため、掌に咲かせよう、真紅の花を。
 撮影・デザイン/竹蔵 TAKEGURA
 モデル・衣装協力/夕梨花

国指定史跡岡城跡

家族無料観覧券



この券を切り取り、登城時に提出してください。1枚につき、1家族が1回に限り無料で観覧できます。

有効期限 平成23年3月26日(土)~4月10日(日)

竹田市教育委員会文化財課



たけたん

情報

2011 3

本 庁 ☎0974-63-1111
荻 支 所 ☎0974-68-2211
久住支所 ☎0974-76-1111
直入支所 ☎0974-75-2211

くじゅうサンホール自主事業

宮谷理香ピアノリサイタル

〔第13回ショパン国際ピアノ
コンクール5位入賞者〕

日 時 3月20日(日)
13:30開場 14:00開演
場 所 久住公民館
くじゅうサンホール
入場料 全席自由席
大人1,000円
小人 500円
(高校生以下)



●お問い合わせ

久住公民館 ☎76-0717 竹田市中央公民館 ☎63-2734

東京大学景観研究室城下町調査研究報告会

日 時 3月26日(土) 13:30～
会 場 竹田市総合社会福祉センター多目的ホール
内 容 竹田市が東京大学景観研究室と受託研究により
実施してきた城下町調査研究の報告会。中井祐
教授・大学院生などによる研究成果報告

●お問い合わせ 竹田市企画情報課 ☎63-4801

“ダムを活かした地域づくり”フォーラム

日 時 3月28日(月) 13:30～
会 場 竹田市総合社会福祉センター多目的ホール
テーマ (1) ダムを活かした地域づくり
(2) 竹田市の防災について

基調講演 演題 「ダムを活かした地域づくり」
講師 オフィス計都 代表・松村紅実子

パネルディスカッション

辻野功 (別府大学客員教授)、島田晋 (大分工業高等
専門学校名誉教授)、松村紅実子 (オフィス計都代表)、
首藤勝次 (竹田市長)、後藤万壽郎 (竹田商工会議所
会頭)、渡辺忠行 (稲葉ダム対策協議会会長) [敬称略]

●お問い合わせ 竹田市建設課 ☎63-4808

国際Cinema in Taketa

映画「ライフ・イズ・ビューティフル」

日 時 3月18日(金) 20:00～
場 所 竹田市総合福祉社会センター多目的ホール
入場料 無 料 ※6歳から入場可

●お問い合わせ 国際交流員クラウディア・カール
(竹田市商工観光課) ☎63-4807

美味しいは幸せ♪

国際料理教室「タルト・フロムベール」

(フランス・アルザス地域の料理)

期 日 3月26日(土) 10:00～15:00
場 所 竹田市総合福祉社会センター調理室
材 料 費 1,000円 (見込み)
申込期限 3月10日(休) ※先着10名まで
●お問い合わせ 国際交流員クラウディア・カール
(竹田市商工観光課) ☎63-4807

旬旅 天空の山桜公園に誘う！

人里離れた桃源郷に山桜が4,000本。山桜を見下ろす
展望所からの眺めは最高です。山桜の魅力をご堪能くだ
さい。旬を五感で楽しむ春の旬旅にどうぞご参加くださ
い。

催 行 日 4月10日(日) 9:30～12:00 (9:00より受付)
コ ー ス レゾネイトクラブくじゅう駐車場～山桜公園
(約20分)

旅行代金 大人 1,000円、
小学生500円
(弁当、保険料)

募集定員 30名

現地では久住高原みちく
さ案内人倶楽部がご案内します。

※詳細は竹田市観光ツーリズム協会、またはホームペ
ージをご覧ください。

●お問い合わせ 竹田市観光ツーリズム協会 ☎63-0585
旬旅HP <http://www.shuntabi.com/>



市民ギャラリー水琴館

☎63-2200

〔開館時間〕9:00～17:00

〔休 館 日〕月曜日。祝日の翌日
(月曜日が祝日の場合は開館)

○岡藩城下町雛人形展

2月4日(金)～3月10日(休)

享保雛や大正雛、昭和初期の雛などを展示します。

(市民ギャラリー水琴館 ☎63-2200)

○上好五美・阿南英行二人展

3月16日(水)～27日(日)

日本画・油絵を50点展示。

(阿南英行 ☎62-2619)

○写団ちくでん四季展

3月29日(火)午後～4月10日(日)

竹田市を中心に会員が撮影した四季折々の写真60点
を展示。(写団ちくでん ☎63-1464 [佐藤])

※3月11日(金)～13日(日)は展示替えのためお休みします。
※なお、展示内容の詳細は、申込者へ直接お電話ください。

消 防

春の全国火災予防運動が始まります！

3月1日(火)から7日(月)までの間、春の全国火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることにより、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的としています。

火災予防運動の最優先課題として『守ろう命！ つけよう 住宅用火災警報器！』を掲げて、住宅防火対策に取り組んでいます！

火災で助かるのは早期発見が決め手！

消防庁では、平成19年から21年までの3年間における、住宅用火災警報器の設置による被害減少の効果を分析した結果、設置されている場合は、設置されていない場合に比べ、被害状況が概ね半減しており、火災発生時の死亡や損失の拡大リスクが、減少することが分かりました。住宅用火災警報器を取り付けることにより、被害を最小限に、くい止められます！

義務！

消防法の改正により、すべての住宅に住宅用火災警報器の取り付けが義務付けられました。罰則規定はありませんが、住宅防火の基本はあくまで自己責任です！平成23年6月1日から設置が義務化されますが（新築住宅は平成18年6月1日から設置されています。）今日、起こるかもしれない火災から自分自身そして大切なご家族を守るため、住宅用火災警報器を早急に取り付けましょう。

協力を！

皆さんの尊い命を守るべく、竹田市自治会連合会・竹田市消防団・各婦人防火クラブのご協力の元に、現在、住宅用火災警報器の早期設置に向け、推進及び調査を行っていますので、ご協力をお願いします。

●お問い合わせ 竹田市消防本部警防課予防係 ☎63-0119

春の全国火災予防運動期間中の行事・防火パレード

【久住】

日 時 3月1日(火) 10:00～11:00

集合場所 久住公益社車庫

参加人員 久住保育所幼年消防クラブ

コース 久住公益社車庫～久住支所～久住保育所まで
(久住支所にて鼓笛演奏)

【竹田】

日 時 3月2日(水) 9:50～11:10

集合場所 竹田市役所前駐車場

参加人員 あさひヶ丘保育園幼年消防クラブ・竹田保育所幼年消防クラブ

コース あさひヶ丘:竹田駅前～古町～マルシヨク本町店
竹田:市役所～ニュータウン七里～竹田保育所

【直入】

日 時 3月3日(木) 14:00～15:00

集合場所 御前湯駐車場

参加人員 なおいり保育園幼年消防クラブ

コース 駐車場～長湯商店街～駐車場まで
(御前湯駐車場にて鼓笛演奏)

●お問い合わせ 竹田市消防本部警防課 ☎63-0119

農 業

農業用廃プラスチック回収します

竹田市とJA大分みどり地域本部は連携して、農業用廃プラスチックの回収を下記のとおり実施します。

使用済みのビニールやマルチなどの農業用廃プラスチック類は、産業廃棄物に位置づけられており、法律で適正な処理が義務づけられています。

回収場所へ運搬する場合は、「運搬車両の表示」及び「書

面の備え付け(携帯)」が法律で義務づけられています。備え付け書類など無い場合は、下記の連絡先まで問い合わせください。また、回収当日は、印鑑が必要になります。

○回収する農業用廃プラスチック類は

ハウスの農業用ビニール、農業用のマルチ資材、ラップサイレージ肥料袋(ビニール)、育苗用ポット、農薬のプラスチック製空容器など

○回収日程

農ビニールと農ポリに分類して持ち込んでください。

地 域	日 時	場 所
久住地域	平成23年3月15日(火) 9:00～15:00	JA大分みどり地域本部 久住野菜集出荷場
直入地域	平成23年3月16日(水) 9:00～15:00	JA大分みどり地域本部 直入野菜集出荷場
竹田地域	平成23年3月17日(木) 9:00～15:00	JA大分みどり地域本部 竹田中央倉庫前広場(飛田川)

※告知放送で後日またご連絡します。

処理経費はどのくらい？

平成22年度は、市とJA大分みどりが処理に係る費用を半額助成していますので、農家負担は1kgあたり3.5円です。廃プラ回収場所にて徴収します。

☆不明な点については、下記にお問い合わせください。

JA大分みどり地域本部営農部園芸課 ☎63-1224

竹田市農政課 ☎63-4805

久住支所産業建設課 ☎76-1116

直入支所産業建設課 ☎75-2215

建 設

道路清掃作業員を募集します

竹田市では、竹田地域及び荻地域の市道清掃や維持補修作業などを行う委託作業員を募集します。

委託条件 普通自動車運転免許証を持ち、健康で作業ができ65歳位までの方

委託選考 書類及び面接による選考

作業内容 作業トラック運転業務、簡易な道路補修、草刈り、側溝清掃作業など

募集人員 1名

契約期間 平成23年4月1日から1年間(土日、祝日を除く)

委託金額 月額 166,000円

申込期間 平成23年3月1日(火)～11日(金)

*申込期間中に履歴書を提出してください。

●お問い合わせ 竹田市建設課庶務係 ☎63-4808

福 祉

手話講習会(上級課程)受講生を募集します

竹田市では、竹田地域及び荻地域の手話通訳者や手話奉仕員を目指す方を対象に手話講習会を開催しますので、受講を希望される方は3月25日(金)までに申込みください。

講習会開催日 《上級課程》*対象者は基礎課程修了の方
毎月第1火曜日・第3火曜日(午後7時から午後9時まで)(全12回) *6月頃開講予定

会 場 竹田市中央公民館研修室

講 師 大分県聴覚障害者協会から派遣

受 講 費 用 受講料は無料ですが、テキスト代等実費がかかります。

申込書提出先 竹田市福祉事務所、各支所いきいき市民課

*受講申込書は竹田市福祉事務所・各支所いきいき市民課に用意しています。

●お問い合わせ 竹田市福祉事務所福祉係 ☎63-4811



募 集

第22回豊の国ねりんピック

「シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展」の作品を募集

平成23年6月29日(水)から5日間、大分市で開催される、第22回豊の国ねりんピック「シルバーふれあい短歌・俳

句・川柳展」の作品を募集します。

募集資格 県内在住の昭和27年4月1日以前に生まれた方
募集部門 短歌、俳句、川柳（川柳のみ課題「歌う」を設けます）

応募点数は、1人につき短歌を1首、俳句・川柳を2句までとします。（ただし未発表作品に限る）

募集期間 平成23年3月1日(火)～31日(木)

※当日の消印有効

申込方法 竹田市福祉事務所、各支所いきいき市民課窓口
に備付けの申込書に必要事項を記入のうえ、大分県社会福祉協議会 長寿いきいきセンター（大分市大津町2-1-41）まで送付してください。

詳細は竹田市福祉事務所福祉係（☎63-4811）、大分県社会福祉協議会長寿いきいきセンター（☎097-553-1150）までお問い合わせください。

竹田市健康づくり推進協議会委員を公募します

竹田市では、地域住民に密着した総合的健康づくりを推進するために、地域や関係機関の代表及び公募委員で構成された「竹田市健康づくり推進協議会」を設置していますが、平成23年度は委員の改選の年（任期2年）になります。広く皆様のご意見を伺うために、若い世代（20代～40代）の公募委員を募集します。お気軽にご応募ください。

公募委員人数等 3～4人程度。性別は問いません。

内容 健康づくり推進協議会への出席(年2～3回程度)

応募締切 健康増進課に3月31日(木)まで電話で応募してください。

●お問い合わせ・お申込み 竹田市健康増進課 ☎63-4810

年金

「出張年金相談」は4月から予約制になります

平成23年4月から「出張年金相談」におきまして「予約制」を実施することと致しましたので、ご案内いたします。

なお、「予約」のお申し込みをされますお客様につきましては、大分年金事務所へお問い合わせください。

※ご予約は、相談日の1か月前から前日まで受付けます。

※当日の相談希望の方もこれまでどおり受付けますが相談の順番が前後することが考えられます。

●お問い合わせ 日本年金機構大分年金事務所(お客様相談室) ☎097-552-1211

競売

公用車を売却します

竹田市公用車1台の売却を行います。下記のとおり説明会を行いますので、お知らせします。

日時 平成23年3月15日(火) 10:00～

場所 竹田市役所1階会議室2

物件 〔日産シーマ〕 排気量4.13ℓ 5人乗り 黒

〔初年度登録〕 平成12年12月

〔走行距離〕 148,938km

〔車検満了日〕 平成23年12月26日

※附属品として、ノーマルタイヤ4本有り（ブリヂストン竹田店預）。ゴム製チェーン有り。

●お問い合わせ 竹田市財政課管財係 ☎63-4802

さとうよしみ竹田童謡祭

さとうよしみ合唱団 団員募集

4月29日(昭和の日)開催の「さとうよしみ竹田童謡祭」で「犬のおまわりさん」を一緒に歌いませんか。

対象 老若男女を問わず、佐藤義美の童謡を歌って楽しもうと思う方ならどなたでも参加できます。

募集締切 3月10日(木)

練習場所 佐藤義美記念館（JR豊後竹田駅から徒歩5分）

練習日時 3月19日、4月2日・16日・23日（計4回）

いずれも土曜日 10:00～11:30

●お問い合わせ・お申込み さとうよしみ竹田童謡祭実行委員会（竹田市中央公民館）☎0974-63-1044

うちのわんこ 🐾 写真大募集 📷

ご自慢の愛犬の写真を募集します。おもしろ写真、癒しの写真、何でもOK！応募いただいた写真は、4月29日に開催される「さとうよしみ竹田童謡祭」会場に展示いたします。

応募要項 写真のサイズ（L版）…写真の裏に応募者の氏名、連絡先、犬の名前、性別、年齢、犬種、写真のタイトルを明記してお送りください。

応募締切 4月9日(土) ※当日消印有効

*デジタルデータによる応募も可。下記アドレスまで送信してください。写真の返却は致しませんのでご了承ください。

●お問い合わせ・お申込み

〒878-0024 竹田市大字玉来1番地11 竹田市中央公民館

童謡祭「うちのわんこ」係 ☎0974-63-1044

〔Eメールアドレス〕 bunkaikan@city.taketa.lg.jp

「協会けんぽ」からのお知らせ

◇協会けんぽ加入者の皆様へ

平成23年3月分（4月納付）から

大分県の適用事業所の保険料率が変わります

◆保険料率 健康保険……9.57%（現行9.38%）

介護保険……全国一律1.51%（現行1.50%）

◆その他 ※健康保険料と介護保険料は労使折半となります。

※40歳から64歳までの方（介護保険第2号被保険者）は健康保険料率に介護保険料率が加わります。

※任意継続加入者の方は4月分の納付から変わります。

●お問い合わせ 全国健康保険協会（協会けんぽ）大分支部

☎097-514-3077

竹田市のこよみ 3月 2011年

1(火)	<ul style="list-style-type: none"> 竹田市歴史資料館常設展『田能村直入展』9:00-17:00 (～4/28まで) ・市民ギャラリー水琴館『岡藩城下町雛人形展』9:00-17:00 ～3/10まで 春の全国火災予防運動久住地域防火パレード10:00-11:00 (久住公益社前) ・おはなしのへや10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや)
2(水)	<ul style="list-style-type: none"> 春の全国火災予防運動竹田地域防火パレード 9:50-11:10 (本庁舎前)
3(木)	<ul style="list-style-type: none"> 竹田市老人クラブ連合会竹田支部第2回スポーツ大会 9:00～(竹田市総合運動公園) ・春の全国火災予防運動久住地域防火パレード 14:00-15:10 (御前湯駐車場前) ・竹田温泉「花水月」休館日
4(金)	<ul style="list-style-type: none"> 岡藩城下町ひな祭り「流し雛」10:00～(竹田駅前稲葉川)
5(土)	<ul style="list-style-type: none"> 岡藩城下町ひな祭り「ひいなあそび」10:00-13:00 (旧NTT竹田駐車場)
6(日)	<ul style="list-style-type: none"> ※八幡山緑日 楽市楽座 10:00-13:00 (旧NTT竹田駐車場) 第24回岡の里名水マラソン大会 10:00-16:00 (竹田市文化会館前スタート)
7(月)	<ul style="list-style-type: none"> 腹部超音波検診 8:00-10:00 (白丹公民館) ・こころの健康相談 13:30-15:30 (荻福祉健康エリア)：要予約 ・荻の里温泉休館日
8(火)	<ul style="list-style-type: none"> 腹部超音波検診 8:00-10:00 (都野公民館) こころの健康相談 13:30-15:30 (竹田古町会場)
9(水)	<ul style="list-style-type: none"> 腹部超音波検診8:00-10:00 (久住公民館) ・3・6・12か月児健診 13:00～(竹田市総合社会福祉センター) ・ブックスタート14:00～(竹田市総合社会福祉センター)
10(木)	<ul style="list-style-type: none"> 多重債務出張相談会 10:00-16:00 (豊後大野市中央公民館) ・竹田温泉「花水月」休館日 【環境緑化用樹木の無料配付】9:00～(直入支所イベント広場)・13:30～(竹田市役所市民広場)
11(金)	<ul style="list-style-type: none"> おも城サイトミュージアム13:00～(岡城跡駐車場) ※要予約：文化財課☎0974-63-4818
12(土)	<ul style="list-style-type: none"> 豊肥子牛市場 9:00-12:00 ・さとうよしみ合唱団練習日 10:00-11:30 (佐藤義美記念館) 童謡と絵本の会10:00-11:30 (佐藤義美記念館 [このこのおうち]) 生涯学習まつり及び高齢者大学閉講式 13:00-16:30 (竹田市文化会館)
13(日)	<ul style="list-style-type: none"> 豊肥子牛市場9:00-12:00 ・岡本地区健康福祉まつり9:00～(社会福祉法人偕佳社「悠々居」) 竹田総合地域学センター由学館 第11回由学館セミナー 13:00-17:00 (竹田市総合社会福祉センター)
14(月)	<ul style="list-style-type: none"> 荻の里温泉休館日
15(火)	<ul style="list-style-type: none"> おはなしのへや10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや)
16(水)	<ul style="list-style-type: none"> 年金相談10:00-15:00 (竹田市高齢者いきいき交流センター) ⑧日本年金機構大分県年金事務所☎097-552-1211 ・3歳児健診 13:00～(竹田市総合社会福祉センター) 大分県行政書士会無料相談会 13:00-16:00 (大分県行政書士会 [大分市]) ・こころの健康相談13:30-15:30 (直入保健福祉センター)：要予約 ・おはなしルーム 13:20～14:00 (竹田幼稚園) 入権学習学習級開級式 15:00-17:00 ・市民ギャラリー水琴館『上好五美・阿南英行作品展』9:00-17:00 ～3/27まで ・温泉療養文化館 御前湯 休館日

※行政相談に関するお問い合わせは、行政相談委員まで(小河晴義 ☎62-3662、太田正一 ☎68-2480、渡辺善照 ☎77-2067、芥藤義昭 ☎75-2692)

平成22年度竹田市生涯学習まつり

テーマ 「人とまちを元気にする地域 “協育”」
 日時 平成23年3月12日(土) 13:00～16:30 (受付12:30～)
 会場 竹田市文化会館
 内容 (第1部)開会式及び高齢者大学閉講式
 ・少年の主張(大分県大会最優秀賞)「雑草のように」
 久住中学校2年 井上由貴さん
 (第2部)基調講演
 演題「悪戦苦闘能力」を身につけよう ～基本は元気をあいさつから～
 講師 大畑 誠也 氏(九州ルーテル学院大学客員教授)

(第3部)生涯学習発表会
 ※ロビーでは生涯学習・公民館活動の作品を展示しています。
 ●お問い合わせ 竹田市教育委員会生涯学習課 ☎63-4817

3月 卒園式・卒業式

○保育所・保育園

18日(金) なおいり保育園
 19日(土) 竹田保育所、小羊保育園、都野保育所
 25日(金) 玉来保育園
 26日(土) 荻保育所、白丹保育所、久住保育所
 あさひヶ丘保育園

○幼稚園

18日(金) 竹田幼稚園、南部幼稚園、直入幼稚園
 19日(土) しらゆり幼稚園

○小学校

23日(水)
 竹田小学校、岡本小学校、豊岡小学校、南部小学校、
 祖峰小学校、菅生小学校、宮城台小学校、
 城原小学校、荻小学校、白丹小学校、久住小学校、
 都野小学校、直入小学校

○中学校

4日(金)
 竹田中学校、竹田南部中学校、
 緑ヶ丘中学校、久住中学校、
 都野中学校、直入中学校

○高校

1日(火) 竹田高校、竹田南高校
 2日(水) 三重総合高校久住校
 3日(木) 竹田支援学校



回収

古い電話帳の回収・紙資源のリサイクルにご協力を！

N T T西日本では、環境保護の立場から、古い電話帳の回収を推進しています。新しい電話帳をお届けした際に（4月中に配達）、古い電話帳を配達員にお渡しください。もし渡せなかった場合でも、後日回収しますので、ご連絡ください。

紙資源の再利用にご協力をお願い致します。

●お問い合わせ タウンページセンター ☎0120-506-309

シルバー人材センター

シルバー人材センターで働いてみませんか？

◇シルバー人材センターとは……

- ・都道府県知事の許可を受けた公益法人です。
- ・就業や収入の保証はありませんが、各人の希望と能力に応じた働き方ができます。
- ・会員の万一の事故に備え、シルバー傷害保険に加入しています。

◇会員になるためには……

- ・60歳以上で、健康で働く意欲のある人
- ・竹田市及び豊後大野市在住の方

◇入会説明会

・毎月第2水曜日 竹田支所会議室 14:00～（1時間程度）
ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ (社)豊肥地域シルバー人材センター竹田支所
〒878-0011 竹田市大字会々 2316番地1
竹田市役所下木分庁舎1階 ☎0974-62-3777

市民課

「公的個人認証サービス（電子証明）」の申請窓口が変更になります

平成23年4月1日から、e-Taxや電子入札等の、電子申請届出等に必要の「公的個人認証サービス（電子証明）」の新規や更新等の申請窓口が、本庁市民課のみとなります。各支所では、お取扱いきなくなりましてご注意ください。※住基カードの申請・受領はこれまでどおり本庁及び支所です。

●お問い合わせ 竹田市市民課 ☎63-1111（内線111・112・114）

催し

第15回てづくり音楽会

日時 3月26日(土) 13:30～15:30

場所 竹田商工会議所2階ホール

入場料 無 料

内容 女声合唱、琴、マンドリン、二重奏、ピアノソロ、みんなで歌おうほか

主催 瀧廉太郎会

●お問い合わせ 瀧廉太郎会 ☎63-1823（堀）

国際交流

青年国際交流事業に参加しませんか

内閣府では、平成23年度に実施する国際交流事業（「国際青年育成交流」「日本・中国青年親善交流」「日本・韓国青年親善交流」「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」「世界青年の船」「東南アジア青年の船」）の参加青年を募集します。

お問い合わせは、内閣府子ども若者・子育て施策総合推進国際企画担当（☎03-3581-1181、<http://www.cao.go.jp/koryu/>）または大分県私学振興・青少年課（☎097-506-3076）まで

求人

ハローワーク豊後大野竹田職業相談室 ☎63-1101
①支配人1人17万 ②介護職員1人13.7～15.7万 ③介護職員2人12.58万 ④農業機械販売・修理係1人14.6～18.7万 ⑤ホール・カウンター係1人15～16万 ⑥調理師見習1人15～20万 ⑦清掃員1人11.44万 ⑧事務員1人12万 ⑨事務員1人15～18万 ⑩飼育係3人16～25万 ⑪測量・土木設計技師1人18～40万 ⑫給食調理員3人11.48～11.58万

〔パート求人（時給）〕

⑬ホームヘルパー 1人900～1,300円 ⑭パック詰作業員2人750円 ⑮雑務員1人700円 ⑯医療事務・医療品販売員1人700円 ⑰パン等製造員1人643～804円 ⑱レジ係1人677円 ⑲接客係1人750～803円 ⑳接客係1人712円 ㉑送迎運転手2人700円 ㉒販売員3人900円 ㉓介護職員1人840円 ㉔洗い場係1人650～813円

第6回大分県障がい者スポーツ大会出場選手募集

5月に大分市で開催される『大分県障がい者スポーツ大会』に出場する選手を募集します。

対象者 市内在住で障がいを持ち、平成23年4月1日現在で10歳以上の方

競技 5月14日(土) ボウリング（身体、知的、精神）
5月21日(土) アーチェリー（身体）
5月28日(土) 卓球（身体、知的、精神）
5月29日(日) 陸上競技（身体、知的、精神）
水泳（身体、知的、精神）
フライングディスク（身体、知的、精神）

※各競技には（ ）内の障がいの方が参加できます。

また、開催日が異なる競技には複数参加することができます。

申込方法 福祉事務所または各支所いきいき市民課に備付けの申込書に必要事項を記入の上うえ提出してください。ただし、ボウリングとアーチェリーの参加申込みについては直接競技団体への提出となります。

提出期限 平成23年4月1日(金)

●お問い合わせ 竹田市福祉事務所 福祉係 ☎63-4811

休日及び夜間の在宅当番医

大久保病院 ☎64-7777

受付時間 平日夜間 18:00～21:00
土曜日 13:00～21:00
休日 8:30～21:00

注意事項 ・かかりつけの病院がある場合は、できるだけ
そこで診てもらおうようお願いします。
・事前に症状、年齢、その他必要事項を病院へ
電話連絡したうえで受診をしてください。
・症状が重い場合は救急車を呼んでください。

※竹田医師会病院でも電話で相談いただき、可能な場合は診療します。

小児科外来休日当番院

当番日	医療機関	電話番号	
3月5日(出)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230	
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333	
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838	
3月6日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121	
	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230	
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333	
3月12日(出)	竹田市立こども診療所	0974-63-3838	
	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121	
	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230	
3月13日(日)	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333	
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838	
	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121	
3月19日(出)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230	
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333	
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838	
3月20日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121	
	3月21日(月)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
	3月26日(出)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
三重東クリニック(三重町)		0974-22-6333	
竹田市立こども診療所		0974-63-3838	
3月27日(日)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230	
	4月2日(出)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333	
4月3日(日)	竹田市立こども診療所	0974-63-3838	
	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121	

受付時間 8:30～11:30(こども診療所は9:00～11:30)
診療時間 9:00～12:00(三重東クリニックは8:30～12:00)
※土曜日については、上記以外にも診療を行っているところがあります。

○豊後大野市民病院 <http://ogatahp.ddo.jp/>
○みやわき小児科 <http://www.miyawaki-kodomo.com/>
○三重東クリニック <http://www.sekiaikai.jp/index.html>
○竹田市立こども診療所 <http://www.city.taketa.oita.jp/>
○大分県豊肥保健所 (☎0974-22-0162)

歯科休日当番医院

当番日	医療機関	電話番号
3月6日(日)	ふじさわ歯科医院(竹田)	0974-64-1118
3月13日(日)	まつもと歯科クリニック(竹田)	0974-62-2400
3月20日(日)	竹田市荻歯科診療所(荻)	0974-68-3263
3月21日(月)	長湯ごとう歯科(直入)	0974-75-3001
3月27日(日)	長湯ごとう歯科(直入)	0974-75-3001

※診療時間を確認のうえ、受診してください。

○大分県歯科医師会 ☎097-545-3151

<http://www.oita-dental-a.or.jp/>

受診時の注意 当番院は、やむを得ず変更になる場合があります。
あらかじめ当番院または竹田市消防署(☎63-0119)にお電話
で確認されるようお願いいたします。また、院外薬局が休みの場合は、
あらかじめ用意されて約束処方となることがありますので、ご了承
ください。



竹田の話題がまるごと観られるのは
TCTだけ!!



たけたケーブルテレビ

◇たけた市民チャンネル特番

・和気藹音コンサート

放送日 3月12日、19日、26日、4月2日(出) 17:00～

2月13日(日)に、竹田市文化会館で行われました、竹田市文化
連盟主催「和気藹音コンサート」の模様をお届けします。

・大河 独眼竜政宗 (毎週月曜更新)

放送日 第26回「絶体絶命」(2/28(月)～3/6(日))

第27回「黄金の十字架」(3/7(月)～13(日))

第28回「知恵くらべ」(3/14(月)～20(日))

第29回「左遷」(3/21(月)～27(日))

第30回「伊達者」(3/28(月)～4/3(日))

放送時間 月曜・8:00～ 火曜・15:00～ 水曜・17:00～
木曜・20:00～ 金曜・9:00～ 土曜・23:00～
日曜・12:00～

NHKで、87年1月4日から87年12月13日まで放映された「独
眼竜政宗」の放映を開始します。独眼竜と恐れられ、仙台62万
石を一代で築いた伊達政宗の生涯、全50回をお届けします。

※都合により番組内容が一部変更する場合があります。

●お問い合わせ 竹田市ケーブルネットワークセンター ☎76-1415

平成23年度ケーブルネットワーク使用料の減免申請を受付けています

次のいずれかの減免要件に該当する場合、使用料が半額(600
円)となる減免制度の適用が受けられますので、申請書の提出
をお願いします。減免申請書はケーブルネットワークセンター
及び各支所いきいき市民課にあります。

- ・80歳以上の方のみで構成される世帯で、世帯全員が市民税非課税である。
- ・身体障害の1級・2級の手帳をお持ちの方のいる世帯で、世帯全員が市民税非課税である。
- ・精神障害の1級の手帳をお持ちの方のいる世帯で、世帯全員が市民税非課税である
- ・療育手帳のA判定とされた方のいる世帯で、世帯全員が市民税非課税である。

平成22年度に使用料の減免の適用を受けた方も、申請が必要です。

●お問い合わせ 竹田市ケーブルネットワークセンター ☎63-4832